

1785 1784

第 一 号

房官臣大		課局務主		件	番受	連帶 課名
丁結	領受	出提	領受			
大正 六年六月廿五日	大正 六年三月三日	大正 二年三月廿四日	大正 六年三月	陸軍電信符號表改正ノ件		決行後 覽課名
決行 後回		帶	連	次官	高級	
長 局		長 局	局長	參事官	副官	官 房
長 課		長 課	主務 局長	主務 副官	主務 副官	
長 課		長 課	課長	主務 副官	主務 副官	審案筆記者
長 課		長 課	課員	主務 副官	主務 副官	

陸軍電信符號表改正ノ件
 大正六年三月三日
 陸軍大臣 陸軍省
 陸軍部 陸軍省
 陸軍部 陸軍省

1786

印刷費
 原簿至多
 官字

984T 684T

第 七 号

決裁指定

閣

房官臣大		課局務主		證認濟裁決		大臣	
了結	領受	出提	領受	號番			
大正 六年六月廿五日	大正 三年三月三十日	大正 二年三月十四日	大正 二年三月				
覽後		帶連		長局		長局	
長		長		課		課	
長		長		課		課	

大正十四年 陸軍省 領省 貳第一八八八號

大正十四年 陸軍省 領省 伍第二八八八號

昭和二年 陸軍省 領省 貳第四九三號

永存

審案筆記者

十四年三月十四日
 正ノ行
 官房

連帶

決行後回
覽名

984T

印刷費...
 原簿至...
 官房



1786

印刷費二十五年及予の算より支出致す
 原稿至多完成す
 予の算より
 別 官室抄 甲
 經 理 室
 東福

副官ヨリ陸軍一般へ通牒

(代秀)

陸軍電信符號表別冊ノ通改正ト奉ル八月

一日ヨリ實施スルコトニ定メラレ

實施期日ハ印刷ノ都合及配賦ノ
關係ニヨリ決定シ記ス

陸軍第五七三號
六月十日

改正

一 現行電信符號表(陸軍第五九五號)ハ大正十二年六月

補修訂正ヲ為セルモ其後諸制度ノ改變等ニ

因リ用語ノ修正追加ヲ要スルモノ多クアリ

一 現行電信符號表ハ符號ノ配列適當ナラザル

為リ電報翻譯ニ際シ煩ハ暇取リ殊ニ用語多

副官ヨリ陸軍一般へ通牒

(伝書)

陸軍電信符號表別冊ノ通改正ト奉ル八月

一日ヨリ實施スルコトニ定メラレ

陸軍第二五七三號 六月十日

改正理由

一、現行電信符號表(大正十一年十月陸普第五九五號)ハ大正十二年六月

補修訂正ヲ為セルモ其後請制度ノ改變等ニ

因リ用語ノ修正追加ヲ要スルモノ多クアリ

一、現行電信符號表ハ符號ノ配列適當ナラザル

為リ電報翻譯ニ際シ煩ハ暇取リ殊ニ用語多

キ(例之、フシラ部)等ハ常ニ索出ノ困難ヲ感ズル
コト切ナリ、本改正ハ此点ヲ主眼トシ

1、從來ノ假名(濁音、半濁音ヲ用ヒズ)三字組ノ方針ハ之ヲ
踏襲スルモ

2、符號ノ構成ハ從來ノイロハ順ヲ廢シ一般索
用タルアイウエオ順ニ改ム(提出意見中此ノ要亦多シ)

3、符號ノ配列ハ從來ノ弊ヲ除キ翻譯ニ當リテ
索出最モ便ナル様配慮ス

以上別紙(改正電信符號表符號假名字組合セ配列
基準)ノ通

差
電

一、^{中七〇}貳千弍百弍拾、^三陸隊、^三四部宛ノ標準ヲ以テ配賦
 之残余ヲ予備トシテ官房ニ保管ス

(配賦數 一五〇〇)

說明

改正際

一、綴込式トナストキハ便利ナレカ如キモ僅カク加除ヲナスモ其ノ部

ヲ殆ント全部改刷セザルヘカラス後ニ經費ヲ増ス事アリ

依テ從來ノ通加除訂正スルトス

一本表ハ組立、翻譯ノ部ニ区分スルヲ可トス(モ、然ルトキハ

冊子大ナルヲ以テ一冊トシ組立、翻譯共ニ便ナル如クセリ)

○改正電信符號表 符號假名文字組合七配列基準

第一列	第二段	第三段	第四段	第五段	第六段	第七段	第八段	
第一列	アアア	アイア	アウア	アエア	アルア	アレア	アロア	アワア
第二列	アアイ	アイイ	アウイ	アエイ	アルイ	アレイ	アロイ	アワイ
第三列	アアウ	アイウ	アウウ	アエウ	アルウ	アレウ	アロウ	アワウ
第四列	アアエ	アイエ	アウエ	アエエ	アルエ	アレエ	アロエ	アワエ
第五列	アアオ	アイオ	アウオ	アエオ	アルオ	アレオ	アロオ	アワオ
第六列	アアカ	アイカ	アウカ	アエカ	アルカ	アレカ	アロカ	アワカ

一、第一字目、假名ハ用語ノ頭字ノ発音トス(例、一、等、慰勞)

二、第二字目ハ第一段カ「ア」、第二段カ「イ」、第三段カ「ウ」、第四段カ「エ」、第五段カ「オ」ト順ニ變移スルモ、同一段内ニ於テハ常ニ相同シ(舊符號表、符號配列ト異ナル點ニシテ索出ニ便ナリ)

三、第三字目(赤字)ハ「アイウエオ」順ニ變化ス

一、五十文字中重複スル假名文字ハ省略シ、本符號表ニ附載ノ四十四文字ヲ使用ス

○使用假名文字
(赤字ハ省略)

ア イ ウ エ オ
カ キ ク ケ コ
サ シ ス セ ソ
タ チ ツ テ ト
ナ ニ ヌ ネ ノ
ハ ヒ フ ヘ ホ
マ ミ ム メ モ
ヤ イ ュ エ ヨ
ラ リ ル レ ロ
ワ キ ウ エ ラ

○此ノ組合セニ依リ得ル符號中同一假名文字ヲ以テ成ル符號ハ、
 ハ符號トシテハ不適當ニ付特ニ省略ス
 例ハ、アアア
 一此ノ組合セニ依レバ、横四十四列、縦四十四段中前記ノ同一假名文字ヲ以
 除キ、千九百三十五組ヲ得
 一、本符號ノ使用ハ第一段、第二段ノ順序トス
 一、成ルモノヲ

第三十九列	アアラ	アイラ	アウラ	アエラ	アルラ	アレラ	アロラ	アワラ
第四十列	アアリ	アイリ	アウリ	アエリ	アルリ	アレリ	アロリ	アワリ
第四十一列	アアル	アイル	アウル	アエル	アルル	アレル	アロル	アワル
第四十二列	アアレ	アイル	アウレ	アエレ	アルレ	アレレ	アロレ	アワレ
第四十三列	アアロ	アイロ	アウロ	アエロ	アルロ	アレロ	アロロ	アワロ
第四十四列	アアワ	アイワ	アウワ	アエワ	アルワ	アレワ	アロワ	アワワ

以上ハ、ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ、ノ部ニ付テ基陣ヲ示レタルモノニ違キズ、イ、ハ、ヤ、ヒ、ロ、ノ部
 ニ付キ第一段ノ例ヲ列ケバ

イアア
 イアウ
 ヤアア
 ヤアウ
 ロアア
 ロアウ

○符號假名文字組合セ配列新舊對照

イトチ	イト	イホヘ	イニホ	イハニ	イロハ	イイロ	イイハ
イトリ	イヘチ	イホト	イニヘ	イハホ	イロニ	イイロ	イイハ

アアク	アアキ	アアカ	アアオ	アアエ	アアウ	アアイ	アアイ
アイキ	アイカ	アイオ	アイエ	アイウ	アイイ	アイア	アイア

舊配列ニ依レバ電報翻譯ノ際
 常ニ下ニ字ノ變化ニ付キ注意
 フ要スルモ新配列ニ依レバ上ニ字
 ハ同一ナルヲ以テ唯、第三字目ノ
 追次ノミニテ足り所要ノ符號ノ
 疎出ハ迅速且容易ナリ

1794

保存期限 三年 決裁指定 閣

大臣官房		主務局長		大臣 委		件名 陸軍電信符號表改正ノ件	受領番 一六八八	廳名 大臣官房
了結	領受	出提	領受	號番	大臣 委			
略稱ニ奉	大正 年	大正 年	大正 年		局長	高級副官	參事官	審案 筆記者
六月廿五日	九月九日	十月八日			主務課長	主務副官		
(裁決)行決後		帶 連		局長		參事官		
局長		局長		局長		參事官		
長課		長課		長課		參事官		
				主務課員		參事官		
				主務技師		參事官		

政務次官 回付決裁 前 連帶 後 課名

決行(決裁)後 回覽 課名

副官ヨリ各課本部、教育總監部庶務課長、軍用鳩調
 査番長、予任製紙部長、被服糧秣本廠長、運輸
 部本部長、技術本部長、服空本部長、築城部本部長、
 長軍馬補充部本部長、兵食本廠長、經理、主簿、
 医学校長、憲兵司令官、各軍各師團及連隊、
 醫務部長、照会

大正十一年十月陸軍第五一九五號陸軍電信符
 號表ヲ増補訂正致候ニ付該表中ニ追加
 登載明細記号字句及附屬表八十二月二十日
 迄ニ回報相燭度也

陸軍省 陸軍第五一九五號 十月九日



經學發第 貳八七 號

電信符號表增補改正見ノ件同答

大正四年十月拾貳日

陸軍經理學校長 木村 茂

陸軍省副官中村孝太郎殿



客月九日陸普第三九一七號ヲ以テ照會

ニ係ル首題ノ件當校ニハ別ニ見見無之

美間承知相成度美也



陸軍



補甲第一〇五

貳二八八

陸軍省
14:11:25
午前 9. 時
長房住棟



陸軍電信符號表改正、件回答

大正十四年三月廿四日

陸軍大臣官房御中

軍馬補充部本



本年十月陸普第三九一七號ヲ以テ首題ノ件照會
相成候處特ニ追加登載ヲ要スル字句及改正意見
共無之候條及回答候也

陸軍省

訓官

録本

1798

陸軍運輸部

甲發第 四一三

陸軍省

12 7 10 待復

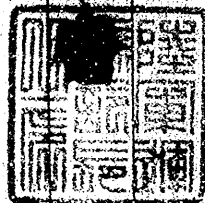
坂本

陸軍電信符號表改正等件回答

大正拾四年三月四日

陸軍運輸部長 鳴瀧紫

陸軍省副官 中村孝太郎 展



十月九日附陸普令第三九一七號ヲ以テ照會相成候者
題ノ件別紙ノ通及回答候也

陸軍

三ノ、四〇〇

改正意見

一現行符號ハ一用語毎ニ濁音ヲ用フルコトナク清音

片假名ニ字ヲ組成シアルモニ字組成ハニ字組成ニ比シ組

立ハ困難ナラサレモ翻譯上稍々困難ヲ感スルヲ以テ濁音日

濁音ヲ用ヒテニ字組成トスルヲ可トセン

増補

ニ左ノ字句ヲ追加セラレタシ

ヘク部

病氣 病名 屏東

ト之部

窟所 同居人 特別室

陸軍

才之部

往復航

カ之部

官憲

還送患者

ヨ之部

容積

揚陸

ウ之部

運航

フ之部

復航

風波

扶養

コ之部

(大阪カケハン納)

航空班

テ 之 部

定期航

定期恢復

天候不良

エ 之 部

輸送請求

輸送品

シ 之 部

重傷

重症

重量

重材料

ヒ 之 部

飛行機材

セ 之 部

船中救護員

大攝文理部一陸軍總司令部内ニ巡野ハ火立ヲ囑命シテ入庫

陸軍省副官中村孝太郎殿

陸軍省
14 12 9
午 9 時

陸軍省副官中村孝太郎殿

陸軍電信符號表改正ノ件回答

大正拾四年三月廿日臺灣軍參謀長渡邊金造

陸軍省副官中村孝太郎殿

十月九日陸普第三九一七號ヲ以テ照會相成候
首題ノ件ニ関シ別紙ノ通及回答候也

1802

陸軍

追加字句

イ之部 一等火工長

ニ之部 二等火工長

ホ之部 保管者、保管兵器、砲兵上等工長、砲工兵工長

ヘ之部 兵器検査、兵器返納證票、兵器支給證票

兵器輸送證票

カ之部 火工長、管理兵器、患者療養班、完了

ク之部 臺灣軍兵器部、臺灣軍兵器部長

臺灣軍兵器部々員、臺灣軍山砲兵大隊

臺灣山砲兵大隊長、臺灣山砲兵大隊附

マ之部 磨工長

陸

軍

フ之部 分数交換(變更)請求表、赴任用刀劍

工之部 工兵上等工長

工之部 衛戍病院長、衛生材料主任

サ之部 三等火工長

キ之部 許可セラレシヤ、疑似

シ之部 庶務主任、人體

削除字句

力之部 火工學生、火工機下士

改正意見ナシ

備考、臺灣山砲兵大隊ニ現在該符號表一部ニテ

不便ニ付ニ部乃至三部備付ラレタシ

印刷
昭和14

東警副第一四七號

陸軍電信符號表改正ノ件回答

大正拾四年三月九日

陸軍省副官 中村 孝太郎 啓

東京警備參謀長 秦 眞次

本年十月九日陸普第三九一七號ヲ以テ照會ニ係ル首
題ノ件迄記ノ通り追加登載相成度及回答候也

迄記

トケヒ

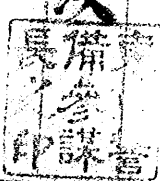
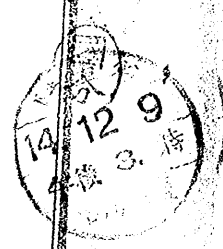
東京警備司令部

トケカ

警備司令官

トケサ

警備參謀長



陸

軍

副官

1806

第十師團
庶務第三五〇號

陸軍省副官中村孝太郎殿

陸軍省
12月11日
9時
官房往復

陸軍通信符號表改正意見ノ件回答

大正四年十月九日 第十六師團參謀長 須田實

陸軍省副官中村孝太郎殿

十月九日陸普第3917號ヲ以テ照會相成候首題ノ件別紙ノ通及回答候也

陸軍

陸軍電信符號改正意見 第十六師團

一追加登載ヲ要スル字句

イノ部	意見ナシ、末々回答 <small>(ナシ)</small>
ハノ部	發翰 <small>(セリ)</small>
ニノ部	任官年月日、入舎
ホノ部	本日送付 <small>(アリ)</small> 、方面 <small>(アリ)</small>
トノ部	督勵、當院
オノ部	ヲ附シ、
カノ部	開通、書留小包、書留封書、患者療養班
レノ部	連絡
ソノ部	其ノ範圍、備付物品

陸軍

スノ部	モノ部	キノ部	サノ部	エノ部	マノ部	ヤノ部	ノノ部	ナノ部	ネノ部	ツノ部
炊爨費用	催ス、漏レ <small>(ナシ)</small> 、 又、	菌檢索	殘置	衛戍副官、衛戍衛兵、衛戍病院長	満腔、謝意ヲ表ス	夜暗	濃厚	爲レ難シ、何期ナルヤ	年度末休暇、年度外	追及、都合上

1809

ニ 削除スヘキ字句	カノ部	(カ又ル) 患者足袋、着護服(修業)、着病人、看護員、着者帽
夕ノ部	足袋	
マノ部	(マコテ) 磨工者護手	
ヒノ部	(ヒマツ) 病院長	
キノ部	(キシト) 菌	

陸

軍

副官

1810

陸軍省
副官
二四一
七
14. 2 12
午 10
分

陸軍省 信符號表改正件回答

大正拾四年十月拾日

第十師團留守參謀平松英

陸軍省 副官中村孝太郎殿

大正十四年十月九日陸軍省第三九二七號ニ依ル首題ノ件
別紙ノ通り及回答候也

陸軍

イノ部

増加スルモノ

一、二等者護卒

醫務

咽頭犬

岩屋

能入附四等

一 彈 (ミヨリ) (ヲ) (ノ)
(ハ) (ヨリ) (ニテ)

一 般 (ミハ) (ヨリ) (ノ)

一 様 (ミヨリ) (ノ)

一 式 (ミハ) (ヨリ) (ノ) (ヲ)

一 覽 (ミハ) (ヨリ) (ヲ) (ミハ)

一 致 (ミタ) (シテ) (セズ) (ス) (スハ)

一 時 (ミハ) (ヨリ) (ノ) (ヲ)

以下略

ハノ部

派遣軍軍醫部

派遣軍軍醫部長

格

長

派遣中 (ノ) (三) (六) (ヨ) (リ)

二ノ部

入校期日

ホノ部

綿帯囊

本職 (ハ) (三) (ヨ) (リ) (ハ) (ノ)

ハノ部

チノ部

駐劄

駐屯病院

リノ部

陸軍衛生材料廠

(工ノ部より除く)

陸軍衛生材料廠長

ルノ部

留守軍醫部

留守軍醫部員

ロノ部

患者療養班

看護長修練者

看護長勤務上等看護卒

看護長志願者

陸

軍

看類官志類者

レ 活動写真

活動写真器械

活動写真フィルム

夕 部

夕ルヲ以テ

レ 部

練糸糸

ツ 陸落

陸

落

クノ部

軍衛生部ヲ軍軍醫部

軍衛生部長ヲ軍軍醫部長

軍醫部留守部業務兼掌

空中

ヤノ部

山代

マノ部

磨工長

磨工長修練者

磨工長勤務上等磨工卒

軍

軍

磨王長志願者

フノ部

フ井ルム

コノ部

項疔

講義録

キノ部

衛生査閱

衛生材料取扱規則

テノ部

轉属

サノ部

サレ (サル)

キノ部

貴院

貴院甲

シノ部

志願者

病

一般に改訂を希望する

特種詞ヲ松風内ニ入ル者後下部ニ附記シ其後ノ採用
範圍ヲ擴張スルヲ望ム

例之 一端 (三) (ハ) (フ) (ヨリ) (ヨリ) (ニテ)

本取 (ハ) (フ) (ア) (ハ) (ニ) (ヨリ)

各皇族ノ御機嫌奉伺

三

1819

甲 第 二 二 七 號

陸軍電信符號表中追加相成度件通牒

大正十四年十二月十四日 築城部本部長 福井策

陸軍省副官中村孝太郎殿

本年陸普第三九一七號ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件別紙ノ通追加相成度及回答候也

陸軍省
14. 12. 15
午前 9 時
官房往復



大正十四年十二月

陸軍省副官中村孝太郎殿

陸軍省

頭字索引

陸軍電信符號表中追加事項

第幾部本部

イ、壹、ホ、豊、チ、父、ア、奄

イノ部 壹岐

ホノ部 豊後

チノ部 父島

ツノ部 津軽

アノ部 奄美大島

陸

陸軍省
第232
14.12.15
午後9時
局長

陸軍電信符號表改正ノ件回答

大正十四年十二月十一日 第十二師團參謀長 岸 孝

陸軍省副官 中 村 孝太郎殿

大正十四年十月九日陸普第三九一七號首題ノ件別紙ノ通及回

答候也



陸
軍

陸軍電信符號表改正意見

一、追加ノ部

ノ學校配屬軍事學教官

2 學校名 (專門學校、實業學校等)

3 上等兵候補者、衛戍病院長

4 第一戰車隊、陸軍步兵學校教導聯隊、戰車隊ニ關スル必要ナル符號

二、削除ノ部

入院患者三等症 (ニトオ)

三、修正ノ部

コサス (古參トアルヲ先任ト改ム)

コユロ (古參トアルヲ先任ト改ム)
コノハ (古參トアルヲ先任ト改ム)

陸軍

關書第三七號

陸軍電信符號表改正ノ件回答

大正十四年十二月九日 關東軍參謀長齋藤 慎

陸軍省副官中村孝太郎 殿

十月九日陸普第三九一七號ニ依ル首題ノ件
別紙ノ通及回答候也

4:12 15
午前 9 時
往復

陸軍

一追加登載部	
發令セラレシヤ	還送見上患者數
發令セラレタシ	軍狀表上
獨立守備隊	磨工長
當軍	見學者
當軍管內	航空兵
陸軍通譯生	交通機關
關東州	轉症
關東陸軍倉庫出張所長	在留地
關東陸軍倉庫出張所長	祭典
還送患者者	歳入歳出科目中符號表ニナキモノ

給養通報	業務補助	居留民會	至急電報指令アリ(アリタシ)	飛行將校	非公式	時局	戰車隊	詮議振承知シタシ	戰跡見學

陸軍

二、用語ノ配列ニ就テ

現符號表中用語ノ配列ハ受信翻譯ノ際頗ル不便ナルヲ以テ左記例ノ如ク改正スルヲ可トスル意見ナリ

左記

一、例

イ也部 「イイヨリ」イスイ」迄ノ第二字ヲ全部「イ」ニ

第三字ヲ「イ」順或ハ「アイウエオ」順ニ

「イイハ」ヨリ「イス」迄ノ第二字ヲ全部「ロ」ニ

第三字ヲ「イ」順或ハ「アイウエオ」順ニ

「イイニヨリ」イス」迄ノ第二字ヲ全部「ハ」ニ

第三字ヲ「イロ」順或ハ「ア」イ「ウ」オ「順」ニ

以下也ニ倣ヒ配列ス

ニ右例ノ如ク配列ヲ改正スル場合ハ欄外ニ見出ヲ

ニ字宛トナスヲ可トス

1829

陸軍兵器本廠

甲第一九二號

陸軍兵器本廠

陸軍電信符號表改正ノ件通牒

大正拾四年三月拾四日 陸軍兵器本廠長近藤兵三郎

陸軍省副官中村孝太郎殿

十四年十月陸普第三九一七號ヲ以テ會有之候首題ノ

件別紙ノ通意見回報候也

北六八八

4:12 15
午前 9時

15 2 23
午後 2時

陸軍

1830

意見符號

ル 郎

ED

1830

高見符箋通
銃砲課

陸軍電信符號增補訂正

增補

(イ) 本部

何處ニ、何レニ、一個中隊、一個大隊、一個聯隊
一個師團

陸軍

1832

増補

(口)ノ部

六稜藥、

陸

軍

増補

(八)ノ部

八年式野戦重測遠器

發送スヘシ

發驛

陸
軍

1834

増補

(三)ノ部

三、荷積

陸軍

増補

(市)ノ部

補給用自動車、

砲兵觀測具

車載用
繫駕用

甲、乙、丙、

補給用自動車ヲ補給用戦車ト行ヒ

陸
軍

増補

(一)ノ部

陸軍兵器本廠豊橋出張所長、陸軍兵器本廠豊橋出張所、

陸軍兵器本廠高田出張所長、陸軍兵器本廠高田出張所、

陸軍兵器本廠岡山出張所長、陸軍兵器本廠岡山出張所、

陸軍

増補

(上)ノ部

此管用自動車工具、此管用自動車特別工具、
導火管、

陸
軍

1838

增補

(子)部

茶黄集、重董、

陸軍

1839

増補

(リ)ノ部

臨時高射砲

陸

軍

増補

(力)ノ部

緩燃導火索、乾燥、觀測用自動偵察車、
緩急車、

陸
軍

1841

増補

(夕)ノ部

耐熱試験

陸

軍

1842

増補

(レ)ノ部

列車番號、

陸
軍

1843

増補

(ツ)ノ部

側車附自動二輪車

陸軍

増補

(山)ノ部

無線通信用戦車

陸軍

1845

増補

(立)部

運行表 運輸表

陸軍

増補

(左)ノ部

輕戰車、携行自動車工具、携行自動車特別工具
牽引用自動車、輕便機關車、輕便車輛。

陸軍

増補

(五)ノ部

五種牽引自動貨車、五年式、蒸炸用、五種、個
航空目標観測具、高射砲彈薬箱、高射砲馬具銃用
機関銃馬具彈薬箱用

陸軍

1848

増補

(五)ノ部

遠距離測遠機

陸軍

1849

増補

(ア)ノ部

歴代傳、宛ニ

山宛ニ
レヲ
前
ル

陸
軍

1850

増補

(サ)ノ部

三角紙、三翫

陸
軍

増補

(半)ノ部

擬砲火、擬銃火、擬製觀準儀
四五式ノ榴四五式十五加
 式十五榴十五式十加
 客車。

陸軍

増補

(シ)ノ部

支板、十字紙、小粒薬、重戦車、十砲牽引自動
 車、特杖乘馬具、手榴弾箱、十一年式輕機銃彈藥箱、
 同馱馬具銃、同馱馬具彈藥箱、十一年式平射砲彈藥箱、
 同馱馬具砲身、同馱馬具砲架用、同馱馬具彈藥箱、
十一年式曲射砲彈藥箱、同馱馬具砲用、同馱馬具彈藥箱用、
 十一年式山砲觀測具、十一年式山砲觀測具馱馬具、十一年
 式七種半野戰高射砲、同自動車積載用彈藥箱、
十一年式高射砲觀測車、十三年式騎砲觀測車、十三年式双
 眼鏡、十四年式十種高射砲、重砲隊備用品箱三式十種

増補

(七)ノ部

廣島陸軍兵器支廠長、

廣島陸軍兵器支廠、

本表全部削除 ✓

陸軍

増補

(セ)ノ部

清涼火薬庫

陸

軍

1856

増補

(天)ノ部

水修、水蓄

陸

軍

訂正

(八)ノ部

爆發管ヲ爆發罐ニ

陸軍

訂正

(三)ノ部

十一年式二馬曳鞍重車ヲ十一年式二馬曳鞍重車ニ

十一年式四馬曳鞍重車ヲ十一年式四馬曳鞍重車ニ

十一年式鋼性銃榴彈ヲ十一年式鋼性銃榴彈ニ

陸軍

改正意見

一凡例「七」ヲ削除セラシタシ

理由

大正十四年八月二十二日逓信省令第四十七号ニ依リ發信ノ欄

削除セラシタシニ依リ本文ト發信人名トノ區分ノタメ

陸
軍

098T



航部發甲第三六六號

陸軍電信符號改正ノ件回答

大正十四年十二月十六日 陸軍航空本部副官 新 諦 五 郎

陸軍省副官 中 村 孝 太 郎 殿

大正十四年十月九日陸普第三九一七號ニ依リ照會相成候陸軍電信符號ニ關シ別紙ノ通り及回答候也



陸 軍

別紙

イ之部 追加

一イ式一八〇馬力發動機

二イ式二〇〇馬力發動機

三イ式三〇〇馬力發動機

四イ式四五〇馬力發動機

五一覽表

六異式

ロ之部 追加

一ロ式又四〇〇馬力發動機

二ロ式又四五〇馬力發動機

三ロ式又三六〇馬力發動機



四、ロールスロイス六〇〇馬力發動機

ハ之部 追加

一、爆撃隊

二、爆撃隊

三、爆撃器材

四、爆撃照準具

五、爆撃投下器

六、爆撃手

七、爆撃照明彈

八、爆撃投下術

九、配油装置

軍

一〇、販賣權

三、販路

三、破綻

一四、運フ

一五、運ハレタシ

一六、運ヒツツアリ

一七、運ヘリ

一八、判明セバ

ホ之部 追加

一、放水

二、放熱器

器

電

三	保存命数
四	保證金
	ハ之部 追加
一	編隊
二	編隊用電話器
三	兵器定数表
四	丙無線電信電話機
	ト之部 追加
一	所澤陸軍飛行學校
二	所澤陸軍飛行學校長
三	所澤陸軍飛行學校副官

四 所澤陸軍飛行學校研究部主事

五 所澤陸軍飛行學校研究部

六 所澤陸軍飛行學校材料廠

七 所澤陸軍飛行學校材料廠長

八 所澤陸軍飛行學校教育部長

九 所澤飛行場

一〇 特種器材

一一 特種兵器

一二 搭載量

一三 搭乗者

千之部 追加

陸

軍

六	地圖枠
二	地上教育
三	地上教育用器材
四	地金規格
五	地金
六	着水装置
	り之部 追加
一	陸軍航空本部總務部長
二	陸軍航空本部検査部長
三	陸軍航空本部技術部長
四	陸軍航空本部技術部

五、陸軍航空本部補給部各務原支部長

六、陸軍航空本部補給部所澤支部長

七、陸軍航空本部補給部

り之部 訂正

一、陸軍航空部ヲ 陸軍航空本部

二、陸軍航空部本部長ヲ 陸軍航空本部長

三、陸軍航空部副官ヲ 陸軍航空本部副官

四、陸軍航空部補給部長ヲ 陸軍航空本部補給部長

五、陸軍航空部補給部所澤支部ヲ 陸軍航空本部補給部所澤支部

六、陸軍航空部補給部各務原支部ヲ 陸軍航空本部補給部各務原支部

七、陸軍航空部検査官ヲ 陸軍航空本部検査部

<p>リ之部 削除</p>	<p>一 陸軍航空學校長</p>	<p>二 陸軍航空學校副官</p>	<p>三 陸軍航空學校教導中隊長</p>	<p>四 陸軍航空學校教導中隊</p>	<p>五 陸軍航空學校材料廠長</p>	<p>六 陸軍航空學校材料廠</p>	<p>七 陸軍航空學校研究部</p>	<p>八 陸軍航空學校下志津分校</p>	<p>九 陸軍航空學校明野分校</p>	<p>ル之部 追加</p>
---------------	------------------	-------------------	----------------------	---------------------	---------------------	--------------------	--------------------	----------------------	---------------------	---------------

一「ルノ」發動機

二類別表

三類似表

才之部

追加

一温水補給車

二温度計

三温度

四温度差

力之部

追加

一完備品

二完備飛行機

陸

軍

三	完全車輪
四	爲替相場
五	假規格
六	假規定
七	假定數表
八	滑走
九	滑走機
一〇	回轉計
一一	關係書類
一二	關係事項
一三	關係資料

一	格納用具
二	格納棚
三	ヨ之部 追加
四	用途
五	要領書
六	要求票
七	豫算、範圍内
八	豫備部品
九	豫備作業
十	豫備器具
十一	豫備部数

目
録

夕之部 追加	一 單座	二 單座機	三 單座戰鬪機	四 對空用無線電信電話機	五 對空用(甲)無線電信電話機	六 對空用(乙)無線電信電話機	七 對空用(丙)無線電信電話機	八 對空用無線電信電話器材	レ之部 追加	下 冷却裝置
-----------	------	-------	---------	--------------	-----------------	-----------------	-----------------	---------------	-----------	--------

二 聯動装置

三 練習機

四 練習用

ソ之部 追加

一 装甲飛行機

二 操縦術

三 操縦性能

四 操縦索

五 操縦装置

六 操縦下士

七 操縦徽章

陸軍

八	送受信	
九	備付兵器	
一〇	備付器材	
一一	備付品	
一二	速度	
一三	速度計	
	ツ之部	追加
一	墜落	
	十之部	追加
一	軟鋼	
二	軟鋼鉸	

三	軟鋼管	
	△之部	追加
一	無線電信機	
二	無線電話機	
	ク之部	追加
一	組立圖面	
二	空中輸送	
	ヶ之部	追加
一	検査請求票	
二	検査合格書	
三	輕爆擊手機	

四	輕油	
五	輕油庫	
六	計器	
七	傾斜計	
	フ之部	追加
可	部品	
ニ	復座	
三	復座戦闘機	
	コ之部	追加
一	甲式四型戦闘機	
ニ	高度計	

三	航空機用合板	
	テ之部	追加
一	偵察機	
二	点火装置	
三	点火栓	
四	電機爐	
	ア之部	追加
一	明野陸軍飛行學校	
二	明野陸軍飛行學校長	
三	明野陸軍飛行學校副官	
四	明野陸軍飛行學校研究部主事	

陸軍

三	巴式一型練習機
二	規格
一	供給者
	キ之部 追加
	一 廿式三〇〇馬力發動機
	サ之部 追加
九	明野飛行場
八	明野陸軍飛行學校教育部長
七	明野陸軍飛行學校材料廠長
六	明野陸軍飛行學校材料廠
五	明野陸軍飛行學校研究部

9 0 0 0 0 0 0

四	生地
五	機上試験
	シ之部 追加
一	下志津陸軍飛行學校
二	下志津陸軍飛行學校長
三	下志津陸軍飛行學校副官
四	下志津陸軍飛行學校研究部主事
五	下志津陸軍飛行學校研究部
六	下志津陸軍飛行學校材料廠
七	下志津陸軍飛行學校材料廠長
八	下志津陸軍飛行學校教育部長

陸

軍

九	下志津陸軍飛行學校教導隊
一〇	下志津飛行場
一一	射擊學生
一二	時間運轉試験
一三	潤滑油
一四	殉職
一五	重爆撃機
一六	銃型寫真機
一七	寫真器
一八	仕様
一九	自記高度計

五	飛行機天幕
四	飛行機用電槽
三	飛行時計
二	飛行寒暖計
一	飛行羅針盤
	ヒ之部 追加
二四	ジエラルミン管
二三	ジエラルミン鉸
二二	ジエラルミン
二一	自動二輪車
二〇	自記器

陸

軍

六	飛行聯隊長
七	飛行聯隊材料廠
八	飛行聯隊材料廠長
	ヒ之部 削除
一	飛行大隊長
二	飛行隊材料廠
三	飛行隊材料廠長
	セ之部 追加
一	戦闘機
二	旋回計
三	成規ノ合格

1884



朝副第四九六號

陸軍電信符號表改正ノ件回答

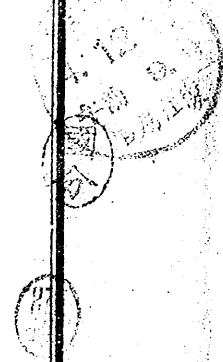
大正十四年十二月十四日

朝鮮軍參謀長 赤井春海

陸軍省副官 中村孝太郎殿

本年十月陸普第三九一七號ヲ以テ照會相成候首題ノ件ニ關スル追加登載字句及改正意見無之候條及回答候也

Vertical handwritten text on the right side of the document.



陸

軍

副官

四三四號

陸軍優待符號表改正意見ノ件回答

大正拾四年七月拾七日

陸軍軍醫學校長 飯島

陸軍省副官中村孝太郎殿

十月九日陸軍省第三九一七號ノ以テ照會ニ係ル首題ノ件

別紙ニ委任符號ノ事ハ加入又字ニ付
考案所意見ニ依リテ答

ニテ事ニ付 専断 条規 據

陸軍省副官 中村

但前所引ノ如ク上ノ意見内迄ハ答

1886

陸軍

12 17

15. 2. 23

1887

陸軍省副官 中村

1886



四三四號

陸軍廣復行狀表改正意見ノ件回答

大正拾四年三月拾七日

陸軍軍醫學校長 飯島 茂

陸軍省副官中村孝太郎 殿

十月九日陸番第三九一七號ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件
別紙ノ通及回答候也



陸軍

1887

陸軍省副官中村孝太郎殿

午前三時步兵第一聯隊ノ侍務官長ノ村中

1888

イノ部	陰性、異常ナシ、異常アリ
ハノ部	パラチラスA型菌、パラチラスB型菌、パラチラス豫防接種液、パラチラスA型豫防接種液、パラチラスB型豫防接種液、パラチラスAB混合豫防接種液、パイフェル及底、発疹、培養
訂込	培養器ヲ培養基ニ訂込
ニノ部	人分、尿
ヘノ部	ペスト菌、ペスト血清、ペスト豫防接種液、ペスト
訂込	豫防接種、斃鼠
トノ部	ペスト病ヲペストニ訂込
トノ部	凍結、動物試験

電信符號加入文字調

防疫部



フノ部	プロゼト、糞使
コノ部	コレラ菌、コレラ像防接種、コレラ像防接種液、コレラ血清、呼吸器、ゴム、巾
新ハ	コレラ病、コレラト新ハ
エノ部	液
アノ部	アメーバ、アナフラキシー、
キノ部	凝集、凝集價、菌量、胸腺、胸腺淋巴性体質、狂犬病、狂犬病像防劑、
ユノ部	有菌儀、有効期限
メノ部	免疫、減菌
エノ部	ミクログラム

シノ部	症状、 診断用、 消毒用、 振蕩、 所要量、 食水
モノ部	満ル
セノ部	赤痢菌、 赤痢アールハ、 赤痢志賀型、 赤痢Y型、 赤痢フキヤ型、 赤痢豫防接種、 赤痢豫防接 種後、 種、 接種部隊、 接種間隔、 接種人員 接種期、 接種済、 接種未済、 接種差支 上、 接種見合サレタ、

1892



第六師團司令部 廢第三八四號

陸軍電信符號表改正件回答

大正拾四年三月拾五日

第六師團參謀長大泉憲

陸軍省副官中村孝太郎殿



大正十四年十月九日陸普第三九一七號
ニ依ル首題ノ件別紙ノ通及回答候也

陸軍省
第三八四號



陸

軍

(松本 納)

一追加ヲ要スヘキ字句

(一) イ之部

員數表

ハ之部

發動機船

飯匙 蛇傳

飯匙 蛇毒血清

ト之部

當部附

到着シ難シ

取有許可差支ナシ

第六師團



ヲ之部

ヲ以テ照會件

力之部

官船

官船利用

簡閱點呼該當者ナルヤ

簡閱點呼該當者ナリ

學校配屬將校

學校教練

之部

聯合支部長

(松本 勤)

聯合支部

ウ之部

運輸費

ク之部

繫船場

コ之部

航空隊

航空兵

航空兵科

ア之部

アル見込

奄美大島要塞司令部

奄美大島要塞司令官

奄美大島要塞司令部員

奄美大島

キ之部

器具雜品費

教陳査閱官

寄留地簡閱點呼參會許可差支ナキヤ

寄留地簡閱點呼參會許可差支ナシ

寄留地簡閱點呼參會取有差支ナキヤ

シ之部

(松本編)

修補費

支部長

支部

上申ノ關係アリ

至急送付セラレタシ(七ヨ)

ヒ之部

便船

便船アリ

便船ナシ

便船ノ都合上

便船ノ都合ニ依リ

1898

飛行兵
七之部
設計圖書

(張) 本 函

668T

陸軍省副官 同右

陸軍省副官 同右

14. 12 15

八
部
本

陸軍省副官 同右

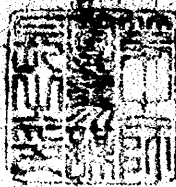
陸軍電信符號表改正意見提出ノ件通牒

大正拾四年十二月拾六日

第十一師團參謀長 中村孝太郎

陸軍省副官 中村孝太郎 殿

十月九日陸普第 三九一七號ヲ以テ照會相成候
首題ノ件別紙ノ通及提出候也



陸軍電信符號改正意見

第1師團

八本

一、電報取扱規則ヲ摘録シタルモノ及料金早見表ヲ

添付セラレタシ

一、畧符號第二段以下ノ字句ヲ左ノ如ク改正セラレ
タシ

イノ部

ロノ部

イロイ 何々々

ロイイ 何々々

イロロ シ

ロイロ シ

イロハ シ

ロイハ シ

イロニ シ

ロイニ シ

イロホ シ

ロイホ シ

陸

軍



イハイ 何々々	ロハイ 何々々
イハロ シ	ロハロ シ
イハハ シ	ロハハ シ
イハニ シ	ロハニ シ
イハホ シ	ロハホ シ
イハヘ シ	ロハヘ シ

第三段ハ第三段ノ「イロハ」四十八字ノ盡キル迄同一字句ヲ用フ

同一字句ハ上官ト下級者ト何レニモ用ヒ得ル様全敷ニ直リ改正セラレタシ

例ハ「ヲ經由スヘシ」トアルヲ「ヲ經由スヘシ」(ヲ經由セラレタシ)等ノ如シ

増補ノ部

第十一師團

一 在郷軍人会ニ関スル字句

例ニ聯合支部、聯合支部長、聯合分會長、支部長等ノ如シ

一 學校教練、學校配屬將校等ニ関スル字句

一 青少年訓練ニ関スル字句

一 戰車隊ニ関スル字句

一 左記字句ヲ増補セラレタシ

貴院 工衛成病院長

演習中

創傷 宿 營地

引渡通知書

貴隊附 詮議振承知シタシ

詮議ノ見込アリヤ

使用ノ見込 現在ノ通

不日詮議ノ見込

1904

三〇師 廢第一七八號

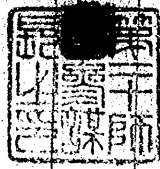
陸軍電信符號表改正件回答

大正四年三月拾五日

第十師團參謀長中川金

陸軍省副官中村孝太郎 啟

首題、件別紙、通及回答候也



貳一八八七



陸軍

陸軍電信符號表改正意見

第二十師團司令部

一、電報規則ノ改正ニ伴ヒ凡例ヲ之ニ合スル如ク改正セラレタシ

凡例七、發信人ノ欄ニ符號ヲ以テ記スル場合ニ

トアルモ電信規則改正ノ結果發信人ハ本文末尾

ニ記載スル如ク改正セラレタルヲ以テ發信人ハ本文

末尾ニ片括弧（ヲ附スルヲ可トセン

一、略符號ヲ左ノ如ク改正セラレタシ

例ハハ イノ部ニ於テ

イイイ イロイ イハイ

陸

軍

イイロ	イロロ	イハロ
イイハ	イロハ	イハハ
イイニ	イロニ	イハニ
イイホ	イロホ	イハホ

理由 略符號ノ發見ヲ容易ナラシムルタメ

頭字索引ヲ如ク「イロハ」順ニ改正セラレ

タニ例ハ「イ」部ニ於テ

イ部 井、胃、伊、衣、尉、位、如、懋、遺、異、意、

依、醫、委、以、維、毳、...

ヲ見テ容易ナラシムルタメ

一地名ヲ冠スル各獨立隊ニ於ケル聯隊長、大隊長、副官等ハ之ヲ一符號トセラレタシ

地名ヲ冠スル各獨立隊等ニ於ケル職名ヲ表ス爲ニ回下團隊名ト職名ノ二符號ヲ以テセル

モ斯ノ如キハ該隊トシテハ符號使用度數多

キ職名ニ對シテ一符號ニモハ符號組立上

經濟ナリ

例ハ馬山重砲兵大隊長ヲ「ハ三口タユメ」ト

アルヲ「ハ三口」ハ馬山重砲兵大隊ヲ示シ他ニ馬

山重砲兵大隊長ニ對スル新符號「ハ三メ」

等ヲ設クルカ如シ

陸

軍



一、電報規則中通信ニ必要ナル参考條項ヲ
有線無線等ニ区分シ拔萃附記スルヲ可
トス

執務上多大ノ便ヲ得レハナリ

一、加入スヘキモノ

軍事救護法

青少年軍事教練

青少年軍事教練派遣將校

陸軍通信學校

陸軍教化隊

教化隊

震動式、断線、漏電、大田(地名)	本年度勤務演習該当ナリヤ、	本年度の間、閱點呼該当ナリヤ、	一、電文不明再電アシ	再調査アリタシ	一、除去スハキモノ	入院患者三等症、	三等症、	監獄、監獄長	陸軍總治隊、	總治隊、總治隊長、總治卒	陸軍
------------------	---------------	-----------------	------------	---------	-----------	----------	------	--------	--------	--------------	----

1910

徳治隊へ編入



1161

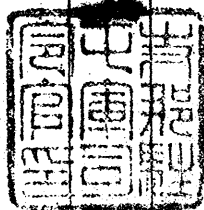
支秘參發第一四四號

14 12 18
午 時
係在權

陸軍電信符號表改正ノ件回答

大正十四年十二月七日 支那駐屯軍司令官小泉六

陸軍省副官中村孝太郎殿



陸香第三九一七號照會ノ首尾改正意見
別紙ノ通回報候也

陸

軍

(一誠) (大塚實業株式會社)

陸軍電信符號表改正意見

一追加登載希望字句

イ、ノ部

一層

一先

一段落

ト、ノ部

當軍

當方

ツ、ノ部

通信學校長

陸

軍

通信學校

通信長

フノ部

不適任

不適當

ハノ部

北京駐屯歩兵隊長

テノ部

天津駐屯歩兵隊長

シノ部

證明書

(一) 誠 大阪伊東軍需品株式會社印行

事務適任

支那駐屯軍高級參謀

支那駐屯軍副官

支那駐屯軍通信長

支那駐屯軍憲兵長

支那駐屯軍病院長

支那駐屯軍病院長

出產

所長

クノ部

軍務局長

陸

軍

軍務局

ニ改正意見

現用ノモノハ翻譯ニ多時間ヲ要スル不便アルヲ以テ左記ノ如ク編集スルヲ可トス即チ假名ノ綴リ方ノ順序不規則ナル爲メ之ヲ整理シ引キ易キ様ニ改正ヲ希望ス

左記

1. 符號ニ翻譯用ト原文ニ翻譯用トニ部ニ区分スルコト

2. 原文モ符號同標イロハ順ニ列記スルコト

1916

檄第二九五號

第六八八

陸軍省
4: 12 18
午前 10 時
復任

陸軍通信符號表改正，件回答

大正十四年十二月十六日

軍用調査委員長畑美

陸軍省副官中村孝右郎殿

軍用調査委員長印

十月十九日陸普第三九一七號照會ニ係ル旨題，件左記
字句追加登載相成度候也

左記

軍用調査委員長

軍用調査委員

通信

舎

第十四師 參謀第四一二號

陸軍電信符號表改正ノ件回答

大正四年三月拾八日

第十四師團參謀長安田

陸軍省副官中村孝太郎殿

首題ノ意見別紙ノ通ニ付及回答候也



貳六六六



陸軍

別紙

陸軍電信符號表改正意見

一 新ニ設定セラレタキ事項

ノ常備團隊各部隊名ノ略符號ヲ定メ之ヲ一表トシ

電信略符號表索引ノ次ニ挿入セラレタシ

2. 右部隊名ニ長ヲ附シタル場合ヲモ定メラレタシ

ニ追加セラレタキ用語

✓ 一切關係ナシ

✓ 未タ發表セラレス

✓ 發病

✓ 發行廳名

✓ 學校配屬將校

✓ 附添

✓ 航空兵

✓ 聯合支部

✓ 聯合支部長

✓ 青年團

✓ 學校教練查閱

✓ 現地戰術

✓ 演習豫定

✓ 演習經過

✓ 演習實施

✓ 衛戍勤務

✓ 衛戍病院長

✓ 磨工長

✓ 轉地療養患者

✓ 磨工長候補者

✓ 看護長候補者

✓ 衛生材料取扱規則

✓ 防疫上注意アリタン

「コレラ」「赤痢」「腸チフス」「パラチフス」「發疹チフス」

「痘瘡」「猩紅熱」「チフテリア」「流行性脳脊髄膜炎」

「パス」ニ同疑似患者ノ符號

(急ニ發症患者ノ挿入)

貳六六 三

弘治四〇九號

陸軍省 14. 12. 19 午前 9. 時 官房 往復

陸軍電信符號表改正件回答

大正四年十二月十七日

第八師團長大谷一男

陸軍省副官中村孝太郎殿

本年陸普第三九一七號照會ニ依ル首題ノ件別紙ノ通り及回答候也

追テ改正意見ハ無之候条申添候

陸軍

追加登載ヲ要スル字句

イ、部 一等火工長

ニ、部 二等火工長

ト、部 特別備付

チ、部 中學校 中學校長

ル、部 留守師團兵器部、留守師團兵器部長

オ、部 乙種學生 大間、大湊

カ、部 假制式、格納法

レ、部 聯合支部長、聯合支部

マ、部 蔓延、徴アリ

コ、部 甲種學生、高等學校、高等學校長

一

二

<p>テ、部 帝國大學 帝國大學總長</p>	<p>サ、部 三等火工長</p>	<p>キ、部 教育用 供用品 供用兵器 供用兵器手入材料費</p>	<p>ミ、部 未補填 未復舊</p>	<p>シ、部 師團兵器部 師團兵器部長 充當</p>	<p>新調修理費 秋季演習</p>	<p>セ、部 戰用兵器</p>		
------------------------	------------------	-----------------------------------	--------------------	----------------------------	-------------------	-----------------	--	--

1924



陸軍本

甲第 三三四號

陸軍電信符號表改正ノ件回答

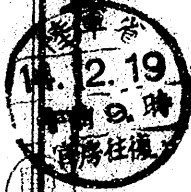
大正十四年十二月十七日

陸軍技術本部副官藤井靜也

陸軍省副官 中村孝太郎 殿

本年十月九日陸普第三九一號照會ノ首題ノ件當部所管内ニハ意見無之候條承知相成度候也

陸軍省 第三三四號



陸軍

1868

副官

1925

獸校發第二六一號

貳第...

陸軍省
14. 12. 19
午後 11. 時
官房往復

賜坂

陸軍電信待號表改正ノ件回答

大正十四年十二月十九日

陸軍獸醫學校長武藤

陸軍省副官中村孝太郎殿

陸軍省
副官
中村孝太郎

十月九日陸番第三九一七號ヲ以テ照會
相成候首題ノ件當校ニハ意見無之候
及回答候也

陸軍

彩轉ス

九月

1926

憲法第七八七號

五第八八號 共三二

1926.12.21
陸軍省
庶務課

陸軍電信符號表改正ノ件回答

大正十四年十二月九日

憲兵司令官 松井兵三

陸軍省副官中村孝太郎殿

十月九日陸普第三九一七號首題ノ件別紙
ノ通及回答候也

陸軍

追加登載ヲ要スル字句

憲法部

イ、部

違警罪處分、遺書、隱語、慰籍料、

ロ、部

漏電、

ハ、部

爆發物、爆彈、犯人、馬賊、

抜刀、抜劍、搬出、半燒、

半艇上陸、發賣頒布、

ニ、部

入相、

ホ、部

保

釋、翻譯人、補助憲兵、放

遣

暴

行、奔、走、放、蕩、勃

發

ハ、部

辯、護

入、變

傷、騙

取

ト、部

取

押、逃

走、取、逃、セリ、取、逃

ス

渡

船、渡、船、場

ナ、部

調査報告(七)治安警察法、治安維持法、致命ノ原因

中江鎮仲坪場

リノ部

陸軍司法警察官、陸軍司法警察吏、領置略式手續、

離隊、掠奪、流言蜚語、

才ノ部

押収、橫領、應援、男、

女

カノ部

海軍法會議法、艦長、艦隊司令官、艦隊司令長官、

艦隊入港、家事、假領置、下流、

ヨノ部

要塞地帯第一區、同第二區、同第三區、同三區外方三千五百間以内、

豫審官、要注意、要視察、

夕ノ部

立寄先退 去對 岸。

レノ部

連類者

ソノ部

搜查處分送 致駭 擾爭 闘

楚 山

ツノ部

墜 落通報濟通 事

ナノ部

（大蔵省）

捺

印

南滿洲鐵道株式會社

中舞鶴

ム、部

無能者

ウ、部

疑

ヒ、字

品、字、治山田

エ、部

厭

世、演

説、延

燒

ク、部

軍事教育

郡

守、空

中

ケ、部

刑事交渉法

憲兵分駐所

憲兵分駐所長

憲兵隊副官

<p>警 衛、檢 察、檢 束、嫌 疑</p>	<p>撃 退、劇 場、惠 山、鎮、慶 興</p>	<p>フ、部</p>	<p>不起訴、不成立</p>	<p>コ、部</p>	<p>告訴人、告發者、構 内、構 外</p>	<p>交 戦、豪 雨、江 原、古 仁、屋</p>	<p>ア、部</p>	<p>壓 迫、暗 殺、奄 美、大 島</p>	<p>サ、部</p>	<p>差 押、参 考、人、詐 取、佐 賀、関</p>
--	--	------------	----------------	------------	--------------------------------	--	------------	--	------------	--

(大正十一年)

キ、部

勤務中、勤務成績、取、罔、恐、喝、

共、鳴、供、述、毀、棄、義、捐、

協、力、強、制、處、分、

エ、部

誘、惑、誘、拐、

メ、部

面、事務所、面、長、

シ、部

常、人、常、時、巡、察、區、署、名、証、據、煙、藏、

証、言、司、法、警、察、官、司、法、警、察、吏、巡、査、

茂 山、	モ、部	被 疑 者、 微 罪、 匪 賊、	ヒ、部	鐘 城、 新 阿 山、	射 殺、 新 舞 鶴、 昌 城、 新 加 坡 鎮、	上 流、 情 報、 侵 入、 襲 撃、	入 畜、 召 集 通 報 入、 洲 内、 洲 外、	重 要 重 傷、 傷 害 致 死、	出 動 死 因、 出 血、 重 大、	事實發見者、 首 出、 神 宮 出 場、
---------	-----	------------------------------------	-----	-------------------------	---	--	---	--	---	--

(大坂市立博物館)

受給分酒スゴロイナリ

セノ部

製鐵所、製鉄所長官、責付、切斷、

全焼、精神異狀、青函連絡船、

以上

1935

陸軍

改正意見

憲法司本部

一符號、配列頻ハ探出ニ便ナラシムル爲メニ改索出式ニ改ムルコト

即チ例ハイ、部ニ於テハ

イイイ イロイ

イイロ イロロ

イイハ イロハ

イイニ イロニ

ノ如クスルヲ便トス

二改正ヲ要スル字句

テ部、朝鮮憲兵隊司令部副官ヲ朝鮮憲兵隊副官ニ

カノ部 海軍下士卒ヲ海軍下士官兵ニ 海軍兵卒ヲ海軍兵ニ

ケノ部 警務部ヲ警察部ニ 警務部長ヲ警察部長ニ 警務總長ヲ

警務局長ニ 警務總監部ヲ警務局ニ

ニ削除ラ要スル字句

ケノ部 憲兵費

コノ部 國務院

以上



別紙 近衛師来、航空本等より
提出ノ意見中 整理 整理 航
空 航空、西の 行 西の意見 承
知 承知

航空 航空
航空 航空
航空 航空

西の 西の

21
時
往復

標
多
挿
用
相

訓言

1939

陸軍電信符號改正、件回答

大正十四年十二月十九日 近衛前大臣參謀長 細木 研

陸軍省副官中村孝太郎 殿

陸普第三九一七號ヲ以テ照會相成候首題ノ件

別冊ノ通及回答候也

追テ該表編纂上ニ関シテハ別ニ意見無之ニ付申

添候

近衛 一三四一號

陸軍省

陸軍省 14.12.21 午前9時 陸軍省

陸軍省 24 15. 午前10時 陸軍省

陸軍

1940

標多採用相

1940

〇標
多
採
用
相
成
心

航
空
深
意
見

1941

陸軍電信符號ニ追加登載及改正ヲ要スル字句

近衛師團

追加部

防毒覆面

動員計畫訓令細則附録

特別手當

動員計畫訓令追加

動員計畫令細則附表

動員計畫訓令細則追加

動員計畫訓令附録

動員計畫臨時訓令

動員計畫臨時訓令細則

定期除隊

(A) 一般 (航空)

針路

飛行経路

空中輸送

航空母艦

操縦者

飛行機操縦士

機長

爆撃手

水上機	己式一型練習機	甲式四型戦闘機	(B) 飛行機	組立	落下傘	航空靴	航空頭巾	登録證明書	同乗者	機上射手
艦上機	陸上機	丁式三型爆撃機	乙式一型偵察機		防空	航空手袋	航空兜	航空眼鏡	航空地圖	偵察者

1944

一 陸軍省 簿記 次具ノ 序 載

本 自 三 百 三 十 一 号

商用機	偵察機	夜間偵察機	戦闘機	爆撃機	夜間爆撃機	(C) 飛行機々體	翼	上翼	右翼	左翼
自家用機	晝間偵察機	遠距離偵察機	駆逐機	晝間爆撃機	雷撃機		主翼	下翼	中央翼	尾翼

迎換ノ上機材ノ所ヲ經テ雅シクモ得道ニ依リテクセ

1946

(E) 計器類	速度計	回轉計	(F) 諸設備	不時着陸機	離陸地帯	格納天幕	地上標識	風向標識	危険標識	(G) 航空術
	高度計	温度計		着陸地帯	飛行場主任	航空標識	十字形着陸標識	施同標識	地上始動機	

軍隊ノ士氣ヲノミテハ...

1947

0

着陸	降下	滑足	單獨飛行	編隊長	編隊ノ集合	編隊ノ同時離陸	編隊着陸	編隊飛行	場内飛行	高空飛行
高等飛行	螺旋降下	旋回	同乘飛行	編隊群長	編隊群ノ集合	編隊群ノ同時離陸	編隊群着陸	編隊群飛行	練習飛行	低空飛行

失速	墜落
空中襲(攻撃)	錐標
(H) 氣象(天候通報)	
快晴無風飛行ニ適ス	雲高ク飛行ニ適ス
雲低ク飛行ニ適ス(飛行困難)	断雲アリ飛行ニ差支ナシ
曇後晴ル見込後報待テ	雨模様飛行ニ適セス
風雨烈シ	烈風ニ離着陸困難ナリ
西北	西南
雪模様	雪降ル
(A) 事故	
空中衝突	空中分解

機體大破	操縦者 共 惨死
同乗者 共 惨死	操縦者生命危篤
同乗者生命危篤	操縦者惨死
同乗者惨死	同乗者、操縦者共惨死
死亡者一時賜金	
(ハ) 平時編成	
陸軍航空本部總務部	陸軍航空本部技術部
下志津陸軍飛行學校研究部	下志津陸軍飛行學校教導隊
下志津陸軍飛行學校教導隊長	下志津陸軍飛行學校材料廠
下志津陸軍飛行學校材料廠長	明野陸軍飛行學校研究部
明野陸軍飛行學校材料廠	明野陸軍飛行學校材料廠長

頁

1950

下志津陸軍飛行學校研究部長	明野陸軍飛行學校研究部長
飛行第七聯隊練習部	飛行第七聯隊練習部長
下志津陸軍飛行學校教育部	下志津陸軍飛行學校教育部長
明野陸軍飛行學校教育部	明野陸軍飛行學校教育部長
新澤陸軍飛行學校教育部	航空本部總務部長
航空部本部検査部長	
(K)地名	
立川	三方ヶ原
各務ヶ原	
(L)會社名	
川崎造船所兵庫工場	三菱内燃機製造株式會社名古屋分工場

1951

<p>東京瓦斯電気工業株式会社 日本樂器製造株式会社</p>	<p>○ 鉄道関係ノモノ</p>	<p>普通鉄道</p>	<p>機関手</p>	<p>機関助手</p>	<p>驛長</p>	<p>助役</p>	<p>列車長</p>	<p>脱線轉覆</p>	<p>生命危篤</p>
<p>中島飛行機製作所</p>		<p>運轉區長</p>	<p>運轉半區長</p>	<p>機関主任將校</p>	<p>運轉主任將校</p>	<p>保線主任將校</p>	<p>制動手</p>	<p>運轉整理</p>	

◎ 鉄道兵特業者 符號

組立工

鑄工

鐵盤工

發動機工

仕上工

製罐工

◎ 其他

鉄道敷設演習

鉄道架橋演習

運轉演習

工場勤務

患者療養班

磨工長

改正ノ部

頁	現在使用シツアル名稱	改正ヲ要スル分	摘 要
六九	陸軍航空部	陸軍航空本部	
〃	陸軍航空部本部長	陸軍航空本部長	
〃	陸軍航空部副官	陸軍航空本部副官	
〃	陸軍航空部補給部長	陸軍航空本部補給部長	
〃	陸軍航空部補給部所澤支部	陸軍航空本部補給部所澤支部	
〃	陸軍航空部検査官	削除	
七〇	陸軍航空學校	所澤陸軍飛行學校	下志津明野 所澤飛行學校 ニテ所澤職名 ヲ記入スルコト
七一	陸軍航空學校長	所澤陸軍飛行學校長	
〃	陸軍航空學校副官	所澤陸軍飛行學校副官	

七二	陸軍航空學校教導中隊	削除
〃	陸軍航空學校教導中隊長	削除
〃	陸軍航空學校材料廠	所設陸軍飛行學校材料廠
〃	陸軍航空學校材料廠長	所設陸軍飛行學校材料廠長
〃	陸軍航空學校研究部長	所設陸軍飛行學校研究部長
〃	陸軍航空學校下志津分校	陸軍航空本部技術部長 <small>下志津</small>
〃	陸軍航空學校明野分校	陸軍飛行學校
〃	陸軍航空部補給部	明野陸軍飛行學校
七五	各務ヶ原支部	陸軍航空本部補給部
〃	陸軍航空學校教育部部長	各務ヶ原支部
〃	陸軍航空學校教育部部長	所設陸軍飛行學校教育部部長
一六二	検査官	削除

一項ヲ増加ス

本省職員(第三頁ノ羅及者ヲ余ノハ空軍一收ヨリ莫カ集ムル

1955

一八六	航空次長	削除	
〃	航空學校	飛行學校	
〃	航空學校校長	飛行學校校長	
〃	航空勤務者保護賜金	航空勤務者保護賜金	
二四六	自動車隊	削除	
〃	自動車隊長	削除	
二六六	飛行大隊長	飛行聯隊長	
〃		飛行大隊長	一項ノ増ス
〃	飛行隊材料廠	飛行隊材料廠	
〃	飛行隊材料廠長	飛行隊材料廠長	

研究



陸軍省 第一師團 參謀長 小杉武司



全 渡邊 衡

陸軍電信符号表改正ノ件回答

大正四年十月十九日 第一師團參謀長 小杉武司

陸軍省副官 中村孝太郎 殿

首題ノ件左記ノ通及回答候也

左記

一、一般ニ「短句」ニ關スル符号ヲ増加セラレ度シ

例ハハ特報トアレハ之レニ「特報セヨ」ヲ附加シ又返

送トアレハ之レニ「返送セヨ」返送ヲ乞フヲ附加ス

ル等ノ如シ

理由

語数ヲ甚シク少カラシムルヲ得

2. 一般ニ「御承知」「御回答」等ト特ニ敬語ヲ要セサル

電文ニ於テ敬語ヲ省略シタル「回答」「承知」ノミト

セラレタシ

但シ御裁下ト云フ如キヲ云フニアラス

理由

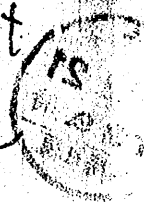
電文組立ノ際引出シニ複雑ニシテ何レカ一方ニ定ム

ルモトセハ一般ニ電文ニ敬語ヲ省略スル趣旨ニヨリ

敬語ヲ省キタルモノヲ以テ一定スルヲ可トセン

ニ次ノ符号ヲ改正セラレタシ

チ子ヨ………鎮撫



全
幾
シ
シ

1959

1959年11月1日付の資料

(大塚)

9. 看護官

10. 学校教練査閲官

つ青才... 為月ノ... 廿ノ... 陸ノ... 乗... 陸... 及... 動... 車

陸軍省

221
午前 10時
陸軍省

陸軍省 仙丙第一〇三 號

陸軍電信符號改正意見ノ件回答

大正四年十月十九日 第二師團參謀長黒坂静一

陸軍省副官中村孝太郎殿

十月九日陸普第三九一七號ニ依ル首題ノ件別

紙ノ通り及回答候也

1960

陸軍

陸軍電信符號改正意見

第二師團

左記略符號ハ個々分離セルモノヲ綴合セハ略符號ヲ用フル
コトヲ得ルモ頗ル繁雜ニシテ且ツ字數多ク事務取扱上不便
多シ故ニ本文ノ略符號ヲ登載セラレタシ

左記

特旨敘位上申ノ資格ナキヤ

特旨敘位上申アレ

削除

速電

大正十三年陸普第二四七號ノ通牒アリタシ

配屬換異存有無速電アレ

書類未着何日發送セシヤ

陸軍演習令	陸軍自動車学校	陸軍通信学校	航空兵	獨立山砲兵聯隊
兵籍送付アリタシ	現住所返電アリタシ	本籍地返電アリタシ	被服上申期ナラスヤ	被位上申期ナラスヤ
ニ追加登載ヲ要スル字句				

陸軍

者

配屬將校

査閱

青少年訓練

司令部^附少將

司令部^附大尉

教練査閱官

許可セラレ度シ

學校配屬將校

教練査閱

陸軍現役將校配屬學校教練査閱規程

陸

軍

陸軍現役將校配屬令

補充令第三十七條ニヨル勤務演習

進級ノ為ノ勤務演習

至急送付アリタシ

ニ得ル如ク

外國語

拘引ヲ囑託ス

軍法會議檢察官

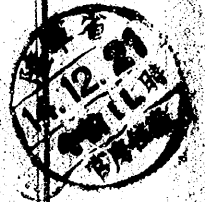
軍法會議豫審官

陸

軍

九師警備四七四號

百第二八八號 共三七



陸軍電信符號表改正件回答

大正十四年三月拾九日

第九師司令部 塚直國



陸軍省副官 中村孝太郎 殿

大正十四年十月九日 陸軍省第三九一七號ヲ以テ

照會相成候 陸軍電信符號表 増補訂

正意見見別紙ノ通及回報候也

陸軍

別紙

衛 成 病 院 長	己 豫 防 接 種 液	磨 工 長	ノ 行	延 人 員	其 ノ 間	花 柳 病	遅 ル レ ル レ ハ	留 守 師 團 軍 医 部 長	補 助 官	追 加 部
エ サ メ	コ イ ワ	マ ヌ ワ	ノ サ エ	ノ テ サ	ソ イ ハ	カ セ オ	オ ス ハ	ル メ ミ	ホ タ ウ	
榮 養 器	呼 吸 器	磨 工 長 候 補 者	ノ 差	延 日 数	運 動 器	外 傷 カ ス ワ	看 護 長 候 補 者	留 守 師 團 軍 医 部 員	留 守 師 團 軍 医 部	
エ キ シ	コ ロ カ	マ ル カ	ノ キ ノ	ノ ア キ	ウ カ レ	カ ス ワ	カ ス ル	ル ミ シ	ル エ メ	

陸軍

腺疫豫防液	炭疽第二豫防液	炭疽第一豫防液	生殖道器	泌尿器	神経系	死亡表	生ス	教育班長	出来(ル)	轉属
セホヨ	タホカ	タニワ	セニカ	ヒカツ	シスネ	シモソ	シシタ	キロワ	テトヨ	テホオ
肺充血	腺疫血清	炭疽血清	腺疫血清	セラレサルヤ	病類別患者糞	縮張	師團軍医部々員	胸育班	教育班	轉歸
ハソマ	セハワ	タヘヨ	セニカ	セハワ	ヒワソ	シセツ	シヒレ	キハカ	キイオ	テヘワ

息	痲	疝	疝	疝	蹄	蹄	馬籍	戰時	蹄	蹄	蹄	獸醫	獸醫
急性胃腸炎	裂	腫	腫	腫	葉	葉	法施行規則	獸醫部勅令	附屬品	傳染病預防法施行規則	傳染病預防法施行規則	材料製式	材料取送手續
ソロイ	シシ	セハ	セハ	セハ	テホ	テホ	ハム	セハ	テホ	カク	カク	シシ	シシ
キハイ	イア	ヒワ	ヒワ	ヒワ	ハラ	ハラ	フモ	セニ	モハ	リア	ヒワ	シヒ	シセ
獸醫材料及蹄鉄檢査法	獸醫材料及蹄鉄檢査法	蹄鉄檢査法	蹄鉄檢査法	蹄鉄檢査法	蹄鉄檢査法	蹄鉄檢査法	蹄鉄檢査法	蹄鉄檢査法	蹄鉄檢査法	蹄鉄檢査法	蹄鉄檢査法	蹄鉄檢査法	蹄鉄檢査法

陸軍整備局貸付規則	リアセ	全国研陳育部名簿之登録金下
学校配属将校	カハシ	教練査閲
昇門以上ノ諸学校	セシコ	中等程度ノ学校
訂正意見	ナシ	ナテコ

1920

陸軍省第四一四號

陸軍省第四一四號

1912.12.21 11時 陸軍省

陸軍電信符號表改正意見件回答

大正十四年十二月十六日第七師團參謀長齋藤

陸軍省副官中村孝太郎殿

大正十四年十月九日陸軍省第三九一七號ヲ以テ照會有
之候旨題ノ件別紙ノ通ク及回答候也

陸軍

陸軍電信符號表改正意見

追加登載ヲ要ス字句

一、秋季演習、秋季演習費、凍害、雪害

ホ、合同調辨へ、詮議振、竣工、移改増築

リ、設計變更明細簿

理由

一、經理上必要アリテナリ

二、現症、症狀、疑似症、字句加入

理由

一、傳染病患者發生ノ場合、隔地部隊ヲ電報ノ際、

要ニワキ

陸軍

三、電送アリタレト相成リ如クトノ畧語

理由

右畧語ヲ使用スル場合數カラサルニ付

(大蔵カケハシ)

1973



第十師團副團長第三八七號

第十師團副團長



陸軍電信符號改正意見提出ノ件

大正十四年十二月十日

第十師團司令部

陸軍省御中

首題之件別紙ノ通り意見及提出候也



陸軍

陸軍電信符號改正意見 第十師團

左ノ字句ヲ追加セラレタシ

異存ノ有無 順位

異存ナキヤ 收容シ得ルヤ

發令セラル (アリ) 人馬異状ナシ

拔擢進級候補決定名簿 持參

ヲ命セラル (セラル) 便乘請求

人員 乘船請求

司令部附 (ヲ) 命セラレシヤ

達シタルニ付 都合悪シ

協議 協議スミ

以上

通常多ク使用スル字句ヲ二以上合シテ一文トセラレタシ

例ハ左ノ如シ

電報ノ通

無事到着セリ

申請ノ件認可ス

退職ノ希望

雨調ノ上返電アリタル

至急送付アレ

派遣セラレタル

但シ現行陸軍電信符号表ノ字句
其候トアレ置カレタル

急ヲ要スルニ付

本日提出セリ

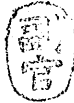
提出セラレシヤ

願ノ件取消セラレタル

要員トシテ

至急電報送金アリタル

員數至急知ラセ



946T

第五
第四十八號

陸軍省

陸軍省
12 21
午後 1 時
官房往復

陸軍省

鈴木音次郎

陸軍電信符號表改正、件同答

大正十四年十月十九日第五號陸軍省謀長澤見新之助

陸軍省副官中村孝太郎殿

大正十四年十月九日陸軍省第三九一七號照

會係以首題、件別紙通及回答

候也



陸軍

字句、追加登載

一 衛成病院院長

一 還送患者

一 航空隊

一 高射砲隊

一 戰車隊

一 特業寄留者

一 戰時職務

一 在郷軍人名簿

一 補缺入隊

一 補充令等是件係幼學簿

習召集者

以上、外青少年訓練ニ関ル略符號ヲ

一 配属将校

一 配属学枝

一 下士官校名簿

一 彈薬柳下

一 研究団隊

一 武官進級令依

一 營内病班

一 衛文

一 希望希望事項

一 秘密書類

1978

新ニ鉄ヲレ渡候也

大役ノ本元

式第一八二五號

教庶第一八二五號

陸軍電信符號表改正意見ノ件回答

大正十四年十二月二十一日 教育總監部庶務課長 蘆澤敬策

陸軍省副官 中村孝太郎 殿

十月九日附陸普第三九一七號照會ニ依ル首題ノ件別紙ノ通ニ候也



大正十四年十二月二十二日

626T



陸

軍

陸軍電信符號表增補改正意見 教育總監部

左ノ通追加

騎兵監ノ次 =

騎兵監部

騎兵監部々員

工兵監部ノ次 =

工兵監部々員

輜重兵監ノ次 =

輜重兵監部

輜重兵監部々員

兵ノ部適當ノ場所ハ

兵監部

陸軍戸山學校生徒隊

ヲ陸軍戸山學校軍樂隊ト改メ
々々二

陸軍通信學校

陸軍通信學校長

陸軍通信學校副官

陸軍通信學校教官

陸軍通信學校學生

陸軍自動車學校

陸軍自動車學校長

陸軍自動車學校副官

陸軍自動車學校教官

(大原カケハシ)

三
文
在
其
中
凡
屬
之
件

1982

削除

陸軍自動車學校學生

陸軍戸山學校體操科

陸軍電信符号表改正意見

陸軍野戦砲兵學校

一、「高射砲練習隊」高射砲練習隊長ヲ次ノ如ク改ム(陸軍電信符号表
カ一八四頁)
「高射砲隊」高射砲隊長」二

ニ其他意見ナシ

陸

軍

陸軍電信弁隊改正意見 陸軍士官學校

増補

陸軍士官學校學務課、陸軍士官學校學生部長

同 學生部副官、同陸軍士官學校 學生部

同 學生、同陸軍士官學校 馬術教官

同 馬術部、同 支那學生隊長

同 支那學生隊、同陸軍士官學校 本科生徒隊長

同 陸軍士官學校 本科生徒隊副官、同 本科生徒

同 豫科生徒隊長、同 豫科生徒隊副官

同 豫科生徒

改正

陸軍士官學校本科
陸軍士官學校豫科
陸軍士官學校豫科生徒隊

廢止

陸軍士官學校生徒、陸軍士官學校生徒隊長

1986T

陸軍電信符號改正意見

一、電信符號中

(1) 至急親展ノウニラウナニカニ訂正

(2) 左記略符號ヲ削除スルヲ要ス

返信照枝 同文連名 遅延兼知

書留郵便配達 著局特定 停車場揭示

別便料電報々知 別便料郵便報知 解船料電報報知

解船料郵便報知

理由 電報規則改正セラレタルニ就キテナリ

二、凡例四ノ括弧()ヲ置キテ普通通話ト區別スノ次ニ

陸軍工兵學校

陸

軍

(小括弧ヲ用スカラス)ト附記スルヲ可トセン

理由 括弧ニハ()ト「レ」トアリテ「レ」ハ電報規則

改正セラレ廢止トナレルヲ以テ誤記セシメサル爲

ナリ

三、二字ヨリ成ル普通語ヲ二字ノ略符號ニスルハ解讀

上不便ナルヲ以テ二字ノ普通語ヲ三字ノ略符號ニナ

ミアルモノヲ削除スルヲ可トス

例 調査終了セル書類ノミヲ送セリ

略符號 子シセセルロ、ノミハケコ

トナルヲ次ノ如ク組 テテハ 如何

子シセルセルロ、ノミハケコ

大阪府立総合資料館

組立法 普通語ノ末ル前ニ必ス其都度句讀莫ク

置ク

理由一、解讀及組立共ニ容易ナリ

ニ、字数ニ於テ凡ソ同数トナルモ句讀莫ク通

信上他ノ字ヨリモ送受信共ニ誤謬ヲ生スルコト

少シ

四、略算師、部陸軍、美學校副官、次ニ教育部長、

教導大隊長ヲ加ヘシタシ

以上

陸軍

副官

1986T

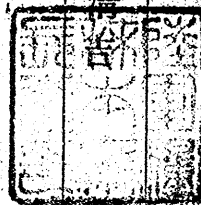
糧甲第三七〇號

陸軍電信符號表改正ノ件回答

大正十四年十二月廿二日

陸軍糧秣本廠長深澤清

陸軍省副官 中村孝太郎殿



十月九日陸普第三九一七號ヲ以テ御照會ニ係ル首題ノ件別紙ノ通り
及回答候也

武第1318

三三三



オハハ入

陸軍

一、文字ノ配列ヲ第二字目迄同一文字毎ニ集メ第三字目ニ於テ、

口、ハ順ト爲スコト其ノ一例ヲ示セハ

イ 之 部 口 之 部

イイイ 口口イ

イイ口 口口口

一一一 一一一

一一一 一一一

イイス 口ロス

一一一 一一一

イロイ 口ハイ

イロ口 口ハロ



陸

<p>ニ、増加登載ヲ要スト認ムル券字句</p>	<p>ハ 計リ難シ ニ 入札保證金、日分、</p>	<p>リ 陸軍糧秣本廠流山倉庫、陸軍糧秣本廠札幌派出所長、 オ 大蔵省令、置場、大阪驛ニ到着ス、</p>	<p>カ 管外出張 目 用水槽、用（貯）水池、</p>	<p>ツ 詰所・詰切、 ネ 年分</p>	<p>マ 豆餅 ケ 月分</p>	<p>コ 公算、雇員給 キ 切葉</p>	<p>ユ 輸送量表 シ 主管事務、時局、時局ノタメ、時局期 消防具、消防夫 セ 船内豫備糧秣、船内馬糧</p>
-------------------------	-------------------------------	--	---------------------------------	--------------------------	----------------------	--------------------------	---



1992

庶第三一八號

武二八八

14:12 23
持
任復

陸軍電係符號表改正意見提出
大津守上等子官第一師團參謀長土藤榮孝
陸軍省副官中村為太郎殿
首取、件、分紙、通及、提出、修、

陸軍

陸軍電信符號表改正意見 第三師團

増補ノ部

高射砲隊隊長	陸地高射砲隊司令	牽引自動車	帝國在野軍人會
高射砲隊隊長	陸地高射砲隊隊長	自動車中隊	帝國在野軍人會
陸軍式七冊半 野戰高射砲 陸地高射砲隊長	陸地高射砲隊長	自動車學校	帝國在野軍人會
陸軍式高射砲 野戰高射砲 防空監視隊	防空監視隊	自動車中隊長	帝國在野軍人會
陸軍式十冊 高射砲	防空監視隊長	自動車學校長	一時見給
野戰高射砲隊長	照空隊	戰車隊	軍事教育
野戰照空隊	照空隊長	軍事訓練	軍事思想
野戰照空隊長	高射機隊	少年訓練	現地戰術
	環層榴彈	帝國在野軍人會 聯合支那長	普通見給

再調濟	再編、再編 アリタシ	衛戍病院長	軍醫副員	當院附	當院	宣	初度巡視	傷病賜金	教育計畫	國防思想普及
				飛行學校長	飛行學校	飛行聯隊長	飛行聯隊	先	貴院附	貴院
		總列用	總列	自動車隊長	自動車隊	輜重總列	輜重兵刀	航空學校長	航空學校	削除ノ部



九師

一五號

郵

一五號

郵

12 24
午前 9 時
官房往復

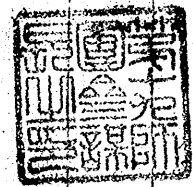


陸軍電信符號表改正意見ノ件回答

大正十四年十月十八日

陸軍省副官中村孝太郎殿

陸軍省副官中村孝太郎殿



十月九日附陸普第3917號ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件

別紙ノ通リ及回答候也

陸

軍

陸軍電信符號改正意見

一 編集ニ關スルモノ

電報規則及陸軍電報規則中左記事項ヲ拔萃掲載スルヲ可トス

ノ、軍用電報ノ種類

2. 軍用電報發信ノ權限

3. 書法

イ、記載要領及注意

ロ、和文電報ノ記號

ハ、指定符號及略符號

4. 電報ノ差出

5. 疑問改正及停止

6. 閲覧及正寫

理由

發(受)信者ノ爲便利多クレハナリ

二追加登載ノ部

イノ部廢兵器檢査規則。破甲爆彈。

ロノ部入院患者表。

ホノ部本會。補助員。補給用戰車。砲塔三十種。

加農縮射砲。砲兵觀測具。砲兵情報班。

砲兵情報班無線通信器材。

ヘノ部兵器檢査。兵器採用檢査規則。兵器制式圖。

田中平廣製

兵器保存要領。

(ト)部取消許可ス。取消許可差支ナキヤ。投下彈藥。

獨立氣球中隊器材。東京警備司令部。東

京警備司令官。

(ハ)部地上標定隊。重戰車。重砲運材車。

(リ)部陸軍通信學校。陸軍通信學校長。陸軍自

動車學校。陸軍自動車學校長。陸軍航空

本部。

(ニ)部音源標定隊。

(カ)部該當年。觀測用自動貨車。瓦斯中隊器材。

火藥類鐵道運送規則。火藥類船舶運送及

貯藏規則。

(目)部 豫審官。

(ロ)部 聯合支部長。 聯合支部

(イ)部 總會。 側車附自動三輪車。 測地隊。

(ウ)部 通信隊。 通信器材。 通信隊器材。

(エ)部 内報、通リ發令セラル。 内地運送馬車者。

(カ)部 無線電信小隊器材。 無線通信用戰車。

(キ)部 延人員。

(ク)部 軍事功勞者

(ケ)部 野戰築城器材。 野砲兵無線通信器材。

野戰照空隊。 野戰照空隊器材。 野戰

田中平康製

照空隊器材。野戰電信隊本部器材。野戰
 電信中隊器材。野戰照明隊器材。野戰
 航空廠。野戰重砲兵無線通信器材。
 各部携帶器材。輕戰車。牽引自動貨車。
 各部航空兵科。高射砲兵。顧問。獻立表。
 鋼製十五冊白砲。高射砲聯隊演習器材。
 鋼製九冊白砲。高射機關銃。光電器材。
 五咫牽引自動車。航空機用機關銃。
 航空通信隊。航空通信隊器材。攻城重
 砲兵無線通信器材。
 各部遠距離測遠器。

㊦部電報發送金アレ(了)。轉歸。

㊧部山砲兵無線通信器材。參會。參會要

スルヤ。參會許可ス。參會願出ツ許可シテ

差支事ヤ。參會取消願出ス許可シテ差支事。

三飛自動貨車。

㊨部氣球兵。氣球大隊本部器材。氣球中隊器材。

氣球隊練習部。

㊩部有功章。

㊪部志願者。至急文書ヲ回答アレ(了)。秋季演習。

秋季演習間。秋季演習費。十年式ニ馬曳

輜重車。十年式ニ馬曳輜重馬具。

因申不詳類

十二年式七冊半野戰高射砲。 十二年式十種加

農砲。 十五種榴彈砲。 四五式二十四冊榴彈砲。

四五式十五種加農運搬車。 四脚十座起重機車。

四脚十座起重機。 十四年式十種高射砲。

十座牽引自動車。 銃砲火藥類取締法。

銃砲火藥類取締施行規則。 銃砲火藥類取締

規則施行細則。 十三年式雙眼鏡

七部評議員。 便乘。 痲類別患者表。

飛行聯隊演習器材。 飛行聯隊練習部。

飛行聯隊練習部長。 飛行聯隊

四部戰車兵。 戰車用機關銃。 戰車用輕砲。

戰車隊。戰車隊器材。戰車牽引用自
動車。戰車輸送用自動貨車。
戰車隊長。

三、削除ヲ要スルモノ

(リツソ)

陸軍東京經理部長

(リカツ)

陸軍東京經理部

(リヨネ)

陸軍東京經理部員

四、改訂ノ部

(コミス)

高射砲練習隊

(テッコ)

電信隊兵

(テチカ)

鐵道隊兵

高射砲隊 =
電信兵 =
鐵道兵 =

(リケエ) 陸軍航空部本部長ヲ

陸軍航空部本部長ニ

(リロイ) 陸軍航空學校ヲ

陸軍飛行學校ニ

(ヒコエ) 飛行大隊長ヲ

飛行聯隊隊長ニ

(ヒケテ) 飛行隊材料廠ヲ

飛行聯隊材料廠ニ



2005

陸軍省 第七六五號ニ

陸軍電信符號表改正ノ件回答

大正十四年十二月廿四日 參謀本部庶務課長 牛島 貞

陸軍省副官 中 村 孝 太 郎 殿

陸普第三九一七號照會ニ係ル自題ノ意見別紙ノ通ニ有之候也

12 24 特 3 陸軍省



陸軍

陸軍電信符號表増補訂正意見

陸軍大學校

陸軍大學校幹事」ヲ増補

陸地測量部

(ホ)ノ部

募集規則」ヲ増補

(リ)ノ部

陸地測量部事務官」ヲ増補

陸地測量表ハ陸地測量標ノ誤

陸地測量部修技所」ヲ増補

陸地測量部班員」ヲ増補

(ソ)ノ部

測量手ヲ測量式ニ訂正

(ケ)ノ部

「検査式」ヲ増補

(シ)ノ部

「施行細則」ヲ増補

(サ)ノ部

「三角及水準測量成果表」ヲ増補

(ト)ノ部

「都市近郊圖」ヲ増補

「東亞輿地圖」ヲ増補

左記拂入ヲ増補

一万分一、二万五千分一、五万分一、十万分一、

二十万分一、五十万分一、百万分一、

參謀本部

一、翻譯組立ノ兩作業ヲ容易ナラシムル爲翻譯組立

ノ二冊制トナスコト

一、イロハ順ヲ五十音圖順ニ改ムルヲ使用上便利トス

(小林又七卿行)

陸軍

副官

陸軍省 陸軍部 第三八五號

陸軍電信符號表改正意見再提出ノ件通牒

大正拾四年正月廿六日 第十六師團參謀長須田實

陸軍省副官中村孝太郎殿

十二月九日一六師庶發第三五〇號ヲ以テ回答致置
候首題ノ意見更ニ別紙ノ通及回答候也

陸軍

(小科文字用)

陸軍通信符号表改正案說明



一 現行符号表ハ従前ノ符号表ニ比シ濁点等
 ナキ為郵便局ニ於ケル間違イハ甚ナキモ
 譯ニ際シテハ非常ナル時間ヲ要シ寧ロ従
 前ノモノ容易ナルノ慮アルモ又従前ノモノハ
 局ノ間違多ク其ニ不便ナリ

二 改正案ハ「アイウエオ」ヲ
 「アイウエ」ニシテ組立法ハ現行ノモノト大差ナ
 キモ翻譯ニ至リテ非常ニ簡便ナリ

即チ横ハ「イロハ」四十五文字ノ一故ヨリ「キ」為
 又縦モ「アイウエオ」ノ五段制ナレハ察見何レ

陸

軍

モ容易ナリ

但シ「アイウエオ」一画ニテハ「二百二十五語迄」

ルノ様アルモ夫レ以上ノ語數ヲ要スルモノハ改

正案「シ」ノ部ニ示ス如ク「カキウケコ」

「サシスセソ」ト「要スレハ」シト「シ」ノ見出ヲ

付ス「順次追記セハ」ニテ語以上ニ及テヘシ

了

三、讓字点檢、爲「モール」符号ヲ卷尾ニ又

條信者ヲ早ク知ル爲表紙裏面ニ陸軍省

教育次官部、參謀本部、各部局課、及各

部局課長ノ竹符号ヲ抽出列記セハ卷便ナラン

2012

陸軍優信符號表改正案

陸軍優信符號表改正案
昭和二十一年八月二十一日
陸軍省
陸軍部



陸軍電信符號表改正案

現行ノモノヲ基準トス

電信器符号

凡例

一、現行ノ終

ニ、-----ニヲ蒐録セリ例ハ「ハ」部ニ於

テ在リ如シ

(ハハ才) 奈令齊 (ハホイ) 派遣スヘシ

(ハ(エ) 振擢名法

三、現行ノ終

三
改
眼

泉文 調査結了ニ付本日出奈版隊ノ途ニ就リ
 此泉文組主ニハ頭字索引(現行ノ通頭字索引ヲ
 巻首ニ置ク)「子」部「調」ニ依リ所在頁ヲ披キ
 「調査結了」ノ用語区劃ニ對スル「子ソイ」
 符号ヲ得以下同要領ニ依リ組主タル
 符号 (子ソイニリアホヤエ) ヲ得
 ◎ 翻譯スルニハ「子」頁ヲ披キ横ニ「ソ」ヲ見出し
 次ニ「イ」ヲ求ムルハ「ソ」行ニ段目即ケ「調査結
 了」ヲ得以下同要領トス
 六、現行ノ係

2016

大塚 義典 氏 著 大塚 義典 氏 著 大塚 義典 氏 著 大塚 義典 氏 著 大塚 義典 氏 著 大塚 義典 氏 著 大塚 義典 氏 著 大塚 義典 氏 著 大塚 義典 氏 著 大塚 義典 氏 著

2017

	ノ	ス	セ	セ	ヒ	シ	ミ	メ	ユ	キ

イ											
ル	又	リ	チ	ト	ハ	ホ	ニ	ハ	口	イ	イ部
								一用	イイ部	ア	
								一旦	イ式ニニ...	イ	
								一式	一号	ウ	
								一様	一号茶	エ	
								一覧	一般	オ	

2020

イ											
											ア
											イ
											ウ
											エ
											オ

2021

イ

			ソ	ス	セ	シ	ス	シ	ミ	メ	ユ	キ

2022

ル	ヌ	リ	チ	ト	ク	ホ	ニ	ハ	ロ	イ	
											ア
											ロ
											イ
											ウ
											エ
											オ

ロ
部
部
部
部
部

11217

ル	又	リ	チ	ト	へ	ホ	ニ	ハ	ロ	イ		ハ
										ハ ア	ア	ハ
						派 遣 ス ベ シ				ハ ル ビ ン	イ	ハ ノ 部
										パ ン	ウ	
					抜 擢 名 法					パ ラ チ ブ ス	エ	
								祭 令 濟		ハ ー ー	オ	

U220

												ニ
ル	又	リ	チ	ト	ハ	ホ	ニ	ハ	ロ	イ		
		ニ 付 (テ ハ)								ヽ ヽ ヽ	ヽ ヽ ヽ	ア
												ニ
												部
												ウ
												エ
												オ

ル	ヌ	リ	チ	ト	ハ	ホ	ニ	ハ	ロ	イ		
											ア	ホ ノ 部
											イ	
											ウ	
											エ	
											オ	

2030

サ	ア	ラ	エ	コ	フ	ケ	マ	ヤ	ク	ノ	
											ア
											イ
											ウ
											エ
											オ

ホ

ホノ部

本日常用漢字
(国)・途ニ就ク

2031

ホ

			ソ	ス	セ	モ	ヒ	シ	ミ	メ	ユ	キ

2034

ル	ヌ	リ	チ	ト	ハ	ホ	シ	ハ	ロ	イ	テ	
											ア	テ ノ 部
											イ	
											ウ	
											エ	
											オ	

2036

サ	ア	ウ	エ	コ	フ	ケ	マ	ヤ	ク	ノ	
											ア
											イ
											ウ
											エ
											オ

子

子

ノ部

ル	ヌ	リ	チ	ト	ハ	ホ	ニ	ハ	ロ	イ		
											ア	ソ 部
			増 額 ス (シ)								イ	
											ウ	
											エ	
											オ	

2039

ノ

			ソ	ス	セ	シ	ミ	メ	ユ	キ

												メ
ル	又	用	子	ト	へ	ホ	ニ	ハ	ロ	イ		
											ア	メ ノ 部
					命 ニ 依 リ						イ	
											ウ	
											エ	
											オ	

サ	ア	ヲ	エ	コ	フ	ケ	マ	ヤ	ク	ノ	
											ア
											ヌ
											ノ
											部
											ウ
											エ
											オ

2043

ノ

		ノ	ス	セ	モ	ヒ	シ	ミ	メ	ユ	キ

ル	ヌ	リ	チ	ト	ハ	ホ	ニ	ハ	ロ	イ	
											ア
											イ
											ウ
											エ
											オ

シ

シノ部

セウ
セフ
テウ

2045

シ

ウ	ム	ラ	ナ	ネ	ツ	ソ	レ	タ	ヨ	カ	マ	オ

2046

シ	ノ	ク	ヤ	マ	ケ	フ	コ	エ	ヲ	ア	サ
										ア	
										イ	
										ウ	
										エ	
										オ	

シノ部

2049

シ
(K)

			ソ	ス	セ	セ	ヒ	シ	ミ	メ	ユ	キ

2050

ル	ヌ	リ	チ	ト	フ	ホ	ニ	ハ	ロ	イ	
											シ
											サ
											シ
											部
											ヌ
											セ
											ン

2051

4(5)

			ソ	ス	セ	モ	ヒ	シ	ミ	メ	ユ	キ

2052

											エ
ル	又	リ	チ	ト	ヘ	ホ	シ	ハ	ロ	イ	
									漢		ア
									習		エ
									費		部
											イ
											ウ
											エ
									円		オ

院覽堂

第四師團 三號

貳一六八

陸軍省 15. 7. 9 10時

陸軍電信符號表改正意見ノ件回答

大正十五年一月六日 第四師團參謀長小倉可夫

陸軍省副官中村孝太郎殿

大正十四年陸普第三九一七號ヲ以テ照會相

成候首題ノ件左記ノ通及回答候也

左記

一 追加セラレタキモノ

人 青少年・教練・査閱等青少年訓練學校

教練等ニ関スルモノ

2. 高射砲學生・甲種學生・乙種學生・飛行學校

通信學校、自動車學校等

(高射砲學生以外、現行符號表ニ依リ集成シ得ハキ

ニ固有各名詞トシテ新ニ追加セラレハ便ナリ)

ニ改正事項

ムロハ頌ヲ五十音順ニ改ムコト(索出容易ト

ナレハナリ)

大日本圖書株式会社

2055

(工)

(政)

陸造甲第四一九號

陸軍電信符號表ニ通信文追加加入ノ件照會

大正十四年十月二日

陸軍造兵廠

陸軍省御中

陸軍電信符號表ノ通信文以外ニ別冊ノ通常時當廠ニ於テ使用希望ノ通信文有之不便ヲ感シ居リ候條追加加入方詮議相成度候也

追テ現行略符號ハ翻譯ニ不便ノ様被存候間其ノ組合セテ別紙ノ通改正セラレ度意見ニ付申添候

六月廿五日

(結)

14.10.5 8時

陸軍造兵廠

14時

15.2.24 10時

27
15.3.10

陸軍

2056

本案ノ通改正追加
本取扱申す

鏡花理博

別冊山家可引
脚意之免

冊直加用送ニ付書

15 2 24
10
工

信
又
有

正
セ
ラ

2056

本案ノ通政ニ追加ノ好意見
在致被也

鏡砲課

別紙山形司結存書
尚書見録
ニテ
カ
鏡砲課

15/2/24
9:10

冊直加用終ニ付書之課御意見
為致取

工政課 御意見
直ニ御用爲ノ上ニ至意成爲致取

2057
工政課ニ書カレテ申入ノ旨入
工政課

御意見
御意見
御意見
御意見

符子表ヲ根本的ニ整理シ成ルルノ後教ヲ増カセテ
シテ亦希望ヲ追加シ而西語ヲ又ハ可クモ現在ノ位
トシテ其止息加ムニ往テニ法教ヲ増シ却テ後進ニ階
ノ終リ故ニ根本的改メクナサレニ於テハ本件ハ別ニ
御用院書トテモ之ヲ研究スルヲ可ク思ハ

2059

✓ 羽布塗料

✓ 鋳材

✓ 橋本

✓ 羽二重

✓ 白銅

✓ 白揚板

✓ 白揚板字

✓ 白揚材 楊

✓ 半造品

✓ 半硬鋼線

✓ 半硬鋼線 飛行機用

✓ 半硬鋼線

✓ 羽布接着塗料

✓ 六ノ部

ニノ部

口誌

口誌ニ提出アリ

口誌ニ送付アリ

口給線類

✓ ニツケル鋼線

✓ ニツケル鋼管

✓ ニツケル

水ノ部

本則

防錆鋼

鋼線

砲身鋼

砲丁鋼

本溪湖銃

ノ部

運送ノレ

ノキ

トノ部

✓ 特症救済金

✓ 特症救済金支給人員金額表

特種鋼

。統一

。統制

✓ 第一編給計表

ノ部

2061

✓ 刀剣類

✓ 等邊山形銅

○ 銅

✓ 素

✓ 素皮封

✓ 素皮封

○ 豚脂

チノ部

○ 重傷

直接生産工

× 地金

✓ 純用銅

✓ テラルミン

✓ テープ

○ 長期見本

チノ部

✓ 生産作動

✓ 検査

○ 標準々術工業動員

○ 標準其済組合

陸軍共済組合組合員

療養救済金

療養救済金支給人員金額表

療治料

療治料仕拂人員金額表

罹災救済金

罹災救済金支給人員金額表

又ノ部

布入護謨管

ルノ部

増場鋼

ヲ、オノ部

帶鋸

乙製線藥

黃銅球頭木螺子

黃銅沈頭木螺子

ワノ部

輪西銃

ワセリン

ワニス

鋼増金附脱退救済金支給人員金額表

2063

カノ部

。恢復

。陶器生産工

。横濱

。管理官

。官設工場

。藤野長

。管村

。科

。運送機

。釜石地鉄

。褐色多脂牛革

。褐色臘牛革

。褐色牝牛革

。褐色牛革

。褐色腹帶地

。漆材

。鍍金工組

。片炭銅線

。革調帯

。瓦湖産生用塊炭

。炭炭

。塊炭

。價格改定見込調書

。棒材

✓瓦期鐵管

ヨノ部

建築用土木材料單價表

✓用外品

チノ部

他部設

✓彈丸鋼

✓脱退救済金

✓脱退救済金支給人員金額表

✓貸與金

✓貸與金人員金額表

✓短期見本

✓種油

レノ部

産

ソノ部

遺棄

遺棄

葬祭料

葬祭料仕舞人員 金額表

ツノ部

面送付アリタシ

ネノ部

飛行機

ナノ部

鉄鋼

鉄鋼

鉄鋼「飛行機用」

鉄鋼

鉄鋼「飛行機用」

鉄鋼

鉄鋼

2066

✓ 軟鋼線

✓ 軟鋼板

✓ 波形亜鉛引鋼線

✓ 鉛

✓ ナフタリン

✓ ヲノ部

✓ W「ラミー」布

ムノ部

✓ ヲノ部

✓ 耐負給

✓ 耐負歩車

✓ 耐水鋼

✓ 薄麻布

✓ ヲノ部

✓ 電力

陸

陸

2068

クノ部

✓計上

✓解部

ト解迫撃砲

✓現用兵器名稱

✓現金受拂現計書

✓携帯防楯

✓検査具

✓月次報告書

✓原料

✓機件

✓機板子

✓結晶石炭酸

✓鯨油

✓研磨砥

フノ部

✓市銅

✓不平等山形鋼

✓市銃

✓複林鋼製鋼

✓フエルト

✓粉炭

2068

2069

- ✓ 不用品
- ✓ 普通鋼
- ✓ アニロマンガン
- ✓ エロニオン
- ✓ 山毛櫨
- ✓ コノ部
- ✓ 有
- ✓ 公傷
- ✓ 工具鋼
- ✓ 高級部員
- ✓ 硬鋼

- ✓ 鋼球
- ✓ 鋼線
- ✓ 鋼屑
- ✓ 高速用防振脂
- ✓ 極軟鋼線
- ✓ 高速鋼線
- ✓ 極軟鋼管「飛行機用」
- ✓ 極軟鋼管
- ✓ 極軟鋼板
- ✓ 極軟鋼板「飛行機用」
- ✓ 極軟鋼板
- ✓ 極軟鋼
- ✓ 鋼板
- ✓ 鋼板

2070

✓鋼索合金

✓工形鋼

✓合板

✓木切材

✓購買仕様書

✓購買格例

✓コークス

✓礦油

エ、エノ部

鋼索

✓鐵材

✓木才松板脚

✓依的兒

アノ部

轉脚

✓電力

✓電氣炉鋼

✓鐵兜

✓鑄鐵鋼

✓鐵葉煉

陸

陸

1202

- ✓ 亞鉛引鋼線
- ✓ 麻鋼
- ✓ 麻神樂
- ✓ 麻
- アノ部
- ✓ 停滯品一覽表
- ✓ D劑
- ✓ 丁形錫
- ✓ 鐵沈澱木灰子
- ✓ 鐵釘鋼

- ✓ 亞鉛引鋼線
- ✓ 亞鉛
- ✓ アルミニウム
- ✓ 酒精
- ✓ 原麻布
- ✓ 亞麻精粉
- ✓ 亞麻錫
- ✓ 亞麻仁油
- ✓ 茅アインケモノ
- サノ部
- ✓ 作業物品名稱集

作業需品標準數量表

作業需品消費數量表

擲出彈體

材料雜品

材料素品

材料素品費

材料單價調查表

在庫物品現數表

參考品

その他

協奉

業務用品

勤續救済金

勤續救済金支給人員金額表

勤續

勤續年

機械

機械運轉用品

機械油

規格

救済金不給人員金額表

義肢支給人員金額表

2073

↓救済金

↓鉄鋼

↓軌條

↓燐硫酸

↓強精藥

↓牛脂

↓球軸環

↓切込炭

↓供給計量表

↓ノ部

↓有功率

↓硫黄磺

↓ノ部

↓ノ部

↓見本品

↓未加工材料調査表

↓海形制

↓三池粉炭

2074

民間工場

- シノ部
- ✓指導
- ✓充實
- ✓充足
- ✓自動車簿
- ✓職工名
- ✓職工規則
- ✓職工規則細則
- ✓職工長
- ✓職工副長
- ✓職工採用
- ✓職工解僱
- ✓職工手帳
- ✓職工名簿
- ✓職工人員
- ✓職工現員表
- ✓職工賃銀
- ✓職工昇給
- ✓職工工名
- ✓職工教育
- ✓職工慰安

5202)

- ✓ 職工賃金
- ✓ 職工給
- ✓ 職工就業時間
- ✓ 職工就業日数
- ✓ 職業費
- ✓ 事業上
- ✓ 従事
- ✓ 試験用品
- ✓ 資源調査費
- ✓ 受配給
- ✓ 傷病救済金
- ✓ 傷病救済金支給人員金額表

- ✓ 死亡救済金
- ✓ 死亡救済金支給人員金額表
- ✓ 診療所
- ✓ 補綴アソシエイト
- ✓ 補綴セラウム
- ✓ 硝石
- ✓ 補綴アソシエイト
- ✓ 弱補薬
- ✓ 常用礦油
- ✓ 印紙油
- ✓ 印刷材料交付
- ✓ 地分

2076

✓ 齒科用

✓ 需品

✓ 器具

✓ 受託

威曼瓦斯藥

✓ 上級職務

✓ 至硬鋼

✓ 至硬鋼鈹

✓ 至軟鋼

✓ 至軟鋼鈹「飛行機用」

✓ 磁鋼

✓ 柱橋材

✓ 硝酸

✓ 硝酸鐵

ヒノ部

✓ 被服品

✓ 皮革

✓ 備品

✓ 檜材

空

庫

2078

スノ部
能層
紫鱗屑
✓杉材
杉板割
杉板
✓錫

陸


電信符號表改正ニ關スル
右ニ付右内各局譯寫意見ヲ徴ス

(大正十五年一月)

陸軍省府部教改正1件

大正五年三月号

大臣官房庶務

電信局庶務所 

電信局庶務

(和文略符号)

(電信規則
指定の項)

(陸軍省府部教
指定の項)

シ

至急

至急

シ

至急
親展

至急
親展

シ

親展

親展

シ

通信料の納

通信局校

シ

ナ
ヤ
ハ
マ
ム
ム
ナ
ナ
ナ
ナ
ム

無線電信

局待

船舶配電

別供電

留置

同文

再送

直取

郵便電信

電報中央局

照校

無線電信

局待

留置

同文

再送

直取

電報中央局

照校

李王世子

同妃

宮城内御無事

司右

字由介

又ラ

軍務電報
社日取書

軍務電報

凡係

七 登居人欄

削ル

2083

史実考

2084

意見付

有る事

陸軍電信符號表申請件

中野大

二月六日

陸軍

イイイ

月三十日

大正十五年一月廿日
騎兵課

陸軍電信符号表改定意見

一、符号ノ組合セ及配列ヲ次ノ如ク改正シ用語ハ通

宜同類文字ノ順ニ配列スルヲ可トス

二、用語ノ補遺ニ就テハ相當期間ヲ與ヘテ更メテ意

見ヲ提出セシムルヲ要ス

イイイ部

イイイ	イイイ	イロイ
イイロ	以上ノ如ク「イイ」ニ始マリ 三字目ヲ「イロ」ハ順ニス ニ終リ次ニ「イロ」ニ始マリ 三字目ヲ「イロ」ハ順ニ更 シメ順次「イハ」「イニ」及 三字目ヲ更ニシム	イロイ
イイハ		イロハ
イイニ		イロニ

ハ之部

ハイイ

ハイホ

ハイロ

以下順次イ之部ニ
同シ

ハイハ

ハイニ

理由

一、符號單簡ニシテ翻譯ノ場合索引容易ナリ。

二、符號ノ變化比較的少キヲ以テ聲信ノ際誤リ
ヲ少ケカラシム

三、用語ハ西素必要ヲ感スルモノアルヲ察見スル事アルモ
相當期間ヲ與ケルニ非シハ記憶ヲ呼起スコト困難ナリ

宛意 一八

陸軍電信符號表中改正ノ件 田啓

大正五年十月廿九日 陸軍省軍務局砲兵

陸軍大臣官房 中

首題、件ニ関シ意見無之候



一月三日

陸軍省軍務局

陸軍

肉皮室

雜案第三三

陸軍電信符號表中改正ノ件

大正十五年二月三日

陸軍省軍務局工兵課

陸軍大臣官房御中

首題ノ件ニ對スル當課意見左記通ニ候也

左記

一 次ノ語ヲ追加セラレ度

ハ之部

石狩。石狩陸軍無線電信所。石狩陸軍電信所長。

口之部

陸軍 15. 2. 11. 午前 11. 時 官房往復

路幅。路線。録取。

木_レ之部

保留せしむ。放射状道路。補助道路。
防衛營造物附屬物件。

ハ_レ之部

標準時。

ト_レ之部

土地建造物。都市計畫。都市計畫地
方委員會。都市計畫畫地方委員會。都市計
畫地方委員長。都市計畫法。道路網。

千_レ之部

中央委員會。地域。

リ之部

陸軍側都市計畫地方委員。陸軍防衛
營造物出入規則。陸軍防衛營造物
營繕事務規定。陸軍通信學校。陸軍
通信學校長。

カ之部

環狀道路。艦船繫泊。金澤陸軍無
線電信所。金澤陸軍無線電信所長。

ツ之部

隧道。通信裝置。通信學校。

陸軍

ウ之部

右側。

ク之部

堀鑿。軍道。

ケ之部

建築物。繫船場。

フ之部

幅員。

コ之部

工業地域。工作物。公園。國有財産
増減報告書。國有財産増減計算書。

公衆郵便。公衆電報。公衆通信。

テ之部

電燈機關。天津無線電信所。天津無線電信所長。

サ之部

左側。撮影。採藻。雜工作物。

ナ之部

舊蹟地。渙獵。橋梁。

メ之部

名勝。

シ之部

商業地域。住居地域。市街地建築物法。

秦皇島。秦皇島無線電信所。秦皇

島無線電信所長。照明装置。

ヒ_レ之部。

廣場。

カ_レ之部。

制限。

ニ次ノ語ヲ訂正セラレ度

ム_レ之部。

無線電信通信所ヲ無線電信所ニ

正政及第一二

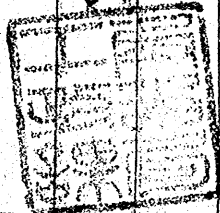
陸軍大臣官房中改正ノ件

大正五年一月三日

陸軍省兵器局工政

陸軍大臣官房中

首題ニ関スル意見別紙ノ通り候也



陸軍

2095

別の主義
のあり
の如何
の如何

第一案

符號ハ使用に便利で経費の節約ができておき
此は其の價値がなから根柢から考へて見よ

第一案ニ字符号ハニ字符号にすること

現制符号總數九、九一六字（一紙に付平均

三三三字に當り）であるがこれを約三分の一減

少すればニ字符号にすむ

イイから	……	インまで	四八字
イ一から	……	イ九まで	九字
イイから	……	九イまで	九字
		計六六字	

報に付イカゞンまで四ハ字

總計 五一六ハ字

現制符号を見よ比例へは

半、半四、半月、半年、~~半年報~~、~~半年~~、~~半年~~

半報、半分、半減、半額、半星、半成器、半永久

等名一字をも之は「半」一字のみとし

袋、袋二付、袋、袋、袋、袋ナレドモ

の如きも整理の餘地あるが如し此、観念にて

整理すれば五分に化する事は不可能ならずと

考ふ、斯くする事は却て使用が便にし一方電

報料の約五分に減少し現制暗号が不便

2096

之に對し細意
を以て便

細意を以て
を以て便
淺く考へる

スルコトを以て
漸進的に入
漸次ノ通リ
ナリ

増加して見れば
イ様へセ子イイヨ
又

2097

3...

たす 割合に経費節減にならぬために「善通」
電報が多用する事をも防ぎ得べし」す
事かごきやう

世態の複雑に伴って符号を無限に増加す
事は必ずしも良い結果は生まないと思ふ

第二案

符号を止めて累脚にする事

これは鉄道相などで行つて既る事と例へは

手荷物緩急率を

寝台率を

土運率を

陸
尾

使用ができたやうにし、通信の軍隊教育に
これを用いる事にするが良し。

第三案

これは現制を少し修正しやうとする案で

1. 必要のない符号を削り数を減らす（減じ

新に入れる可とするものは大抵の事にする（但し四

月以降に修正する事）

2. イロハ順をアイウエオ順にする事は是非

必要である

3. 排列を イイロ、イロハ、イハニ、とせざん

イイイ、イイロ、イイハとする事も

2100

必要である（東海其他の國語字書と同
じくする）

2102

閣下
行

陸軍省
陸軍省兵器局銃砲課
五月二日

陸軍電信符號表改正件

陸軍省兵器局銃砲課



大臣官房
大
首題ノ件
閣下當課ノ意見
見世之候
也

陸軍

月二日



内閣

2102

陸軍電信符號表中改正ノ件

大正十五年二月五日

陸軍省兵器局器材課

陸軍大臣官房御中

首題ノ件ニ関シ別紙ノ如ク改訂加除アリタキ
意見

陸軍

二月十四日

別紙

一、符號ノ構成・符號ノ配列等若シ全部改訂アル

トキハ五十音式ニ依ルコト

索引ニ同行音ノ連繫ヲイロハニ比シ觀念ノ

聯想容易ナリ

三、索引モ亦五十音式ニ改メ且ツ頭漢字索引ノ外ニ

仮名索引表ヲモ加ヘ置クコト (組立、翻譯、便宜上)

三、別表ノ如ク改訂スルコト

差
尾

				ハ之部				ロ之部							
配	傍	半	ハ	六	勞	ロ	ロ	配	傍	半	ハ	六	勞	ロ	ロ
列	受	数	氣	氣	働	レ	レ	列	受	数	氣	氣	働	レ	レ
ス	ス	ス	用	用	立	式	式	ス	ス	ス	用	用	立	式	式
			加	加	法	四	四				加	加	法	四	四
			入	入		馬	馬				入	入		馬	馬
検査等、関係アハ語	無線用語	概数ヲ示スニ屢々用ヒラル	發動機構成部分ヲ呼	發動機構成部分ヲ呼		力	力				業	業		力	力
						發	發				務	務		發	發
						動	動				上	上		動	動
						機	機				ニ	ニ		機	機
						構	構				使	使		構	構
						成	成				用	用		成	成
						部	部				セ	セ		部	部
						分	分				ル	ル		分	分
						ヲ	ヲ				研	研		ヲ	ヲ
						呼	呼				究	究		呼	呼
											用	用			
											發	發			
											動	動			
											機	機			
											名	名			

發 動 機 用	發 動 機	羽 布 塗 料	羽 布	裸 線	爆 彈 携 行 量	爆 彈 投 下	爆 擊 聯 隊	爆 擊 照 準 具	爆 彈 加 入	配 置 表 改 訂 配 置 圖 (表) トナスコト
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス		

		へ之部				ホ之部	
レ	屏東(臺灣)	丙式壘練習機	保管兵器	保管	暴風雪	方向舵	丙式一型練習機
	加入	削除	ス	ス	ス	加入	削除
						飛行機部巻呂	

ト之部

飛	訂正	噸 飛 飛(噸)
取扱	加入	
搭乗者(員)	ス	
搭載量	ス	
獨立飛行中隊	ス	
獨立氣球中隊	ス	
東京工廠	訂正	東京砲兵工廠ヲ東京工廠
東京工廠提理	訂正	東京砲兵工廠提理ヲ東京工廠提理
東京工廠會計課長	訂正	東京砲兵工廠會計課長ヲ東京工廠會計課長

リ 之 部	重 爆 撃 機	重 量 表	重 量	調 辦 未 了	調 辦 済	着 陸 場	着 陸 (セリ)	長 時 間 飛 行 加 入	子 之 部
	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	長 距 離 飛 行 テ ル 文 字 モ ア ル 故	

陸軍航空本部	訂正	陸軍航空部トアルヲ陸軍航空本部
陸軍航空本部長	ス	陸軍航空部本部長トアルヲ
陸軍航空本部副官	ス	陸軍航空部副官トアルヲ
陸軍航空本部補給部	加	
陸軍航空本部補給部長	訂正	陸軍航空部補給部長トアルヲ
陸軍航空本部補給部所澤支部	ス	陸軍航空部補給部所澤支部トアルヲ
陸軍航空本部々員	加	
陸軍航空本部總務部長	ス	
陸軍航空本部検査部長	ス	
陸軍航空本部検査官	訂正	陸軍航空部検査官トアルヲ

陸

軍

✓	✓	✓	✓								
陸軍通信学校長	陸軍通信学校	陸軍航空学校明野分校	陸軍航空学校下志津分校	陸軍飛行学校教導中隊長	陸軍飛行学校教導中隊長	陸軍飛行学校材料廠長	陸軍飛行学校材料廠	陸軍飛行学校研究部長	陸軍飛行学校副官	陸軍飛行学校長	陸軍飛行学校
ス	加入	ス	削除	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	訂正
								陸軍航空学校 云々 トア ル			

		履 歴 簿 (表)	臨時兵器検査官首座	臨時兵器検査官	臨時軍用氣球研究會	陸軍無線電信調査委員長	陸軍無線電信調査委員	陸軍通信學校材料廠長	陸軍通信學校材料廠	陸軍通信學校研究部
		加 入	ス	訂 正	ス	ス	削 除	ス	ス	加 入
			臨時兵器検査員首座 「トアルヲ」	臨時兵器検査員 「トアルヲ」						

ナ之部	内地製品加入	ラ之部	落下傘加入	ム之部	無線電信(電話)機加入	ク之部	九氣管用加入
-----	--------	-----	-------	-----	-------------	-----	--------

漢
語

テ 之 部	點 火 栓 加 入	考慮ヲ要ス(セシタシ)	抗力試験	航空本部長	航空本部	航空機材料規格	高度計	高度	工兵器材
		ス	加入	ス	訂正	ス	ス	ス	加入
				航空本部長	航空本部				

陸軍機
又右の如く
（現行の）

2118

陸ノ樹ノ挿メレシモ
航ノ樹ノ重出スヤヤ
又右ノ所ノ入ルヲ南ノ所ヤ
(現カハ航ノ所)

	偵察(用飛行)機	加入	
サ之部	定数表	加入	
	材料廠長	加入	
キ之部	已式一型練習機	加入	
工之部	有効搭載量	加入	

陸

軍

		ヒ之部			シ之部			ミ之部	
飛行隊	飛行機		上昇速度	上昇限度	試作		民間工場		
用	用		々	々	加入		加入		
々	加入								

陸軍電信符號改正意見ノ件

大正十五年二月四日

主計課

大臣官房 御中

首題ノ意見別紙之通り及送付
候也



陸軍

陸軍電信符號表改正意見

主計課

第一符號ノ組織配列ニ就テ

一、符號ノ配列ヲ現行一般字典ノ如ク徹

底的 アイウエオ又ハイロハ順トスルコト即チ

符號ヲ三字トスル場合ハ第一字ヲ先ツ

アイウエオ順トシ第二字ハ第一字毎ニア

イウエオ順トシ第三字亦第二字毎ニア

イウエオ順トス

例

陸軍

2124

<p>現在ノ配列方法ニテハ組立及翻譯ニ手</p>	<p>理由</p>	<p>ア イ ウ</p>	<p>ア イ イ</p>	<p>ア イ ア</p>		<p>-----</p>	<p>-----</p>	<p>ア ア ウ</p>	<p>ア ア イ</p>	<p>ア ア ア</p>	
--------------------------	-----------	----------------------	----------------------	----------------------	--	--------------	--------------	----------------------	----------------------	----------------------	--

0541

數及時間ヲ要スル歟アルニ由ル

ニ現今ノ暗號電報ノ如ク組立ト翻譯ト

ニ區分スルヲ便トス

之カ為メ經費ノ膨大ハ小活字ヲ以テ印

刷スルコトニ依リ一部緩和スルコト

理由

執務ヲ迅速ナラシメ且ツ進テ符號ヲ便

用スル如ク自然的ニ指導シ得ルコト

ナルニ由ル

第二字數節約ニ就テ

委
員

字数一字ノ場合ハ濁音又ハ半濁音ヲ
以テ表示スルコト

例

ニ ↓ ニ又ハ。ニ

理由

現在ニアハ一字ノ場合モ符^節ヲ使用スル
為ノ三字ヲ要シ結局字数節約ノ目
的ニ合セス

第三左記用語ヲ新ニ追加スルコト

内閣室

2128

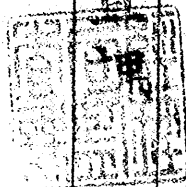
別外

陸軍電信符号表中改正件

大正五年二月四日

陸軍省經理局監査

大臣官房御中



首題丸記、通進加相成度及提出候也

丸記

一 監査課長 一 監査課 一 支出済額報告書

一 調定済額 一 調定及収入済額 一 前月迄累計

一 本月迄累計 一 本月分一 還算スヤ

陸

軍

電信局管轄表申改云ノ件
 大正五年十月四日
 法務局
 大臣官房法中
 首魁ノ件意見見送之旨也

陸軍

口
要
録



陸軍電信符號表中改正ノ件ノ對ス意見

大正拾五年貳月參日

警務局警事課

陸軍大臣官房 御中

首題ノ件左記ノ通追加相成度候也

左記

一 戰用衛生材料動員用品

一 セラレル答

セラレル 答ハ各別ニ符号アルモ不便不經濟ニ付

添付書ノ意

三月三日

2132

光記
通

改訂

又

州

<p>本少年訓練所の運営に諸君の御協力をお願いする事と奉告致す所を以て</p> <p>此の如く御座り</p>	<p>近テ有リテ之を適宜ト思ハレモ之ヲ左記ニ列記スル</p> <p>方角 学規</p> <p>その如く御座り</p>	<p>陸軍現役中隊に所属ス</p>	<p>一日 施行規程</p>	<p>一 學務主任</p>	<p>一 學務教練</p>
--	--	-------------------	----------------	---------------	---------------

在在り

出出

出出

<p>一 陸軍省の編制 一 陸軍省の編制</p>	<p>一 陸軍省の編制 一 陸軍省の編制</p>	<p>一 陸軍省の編制 一 陸軍省の編制</p>	<p>一 陸軍省の編制 一 陸軍省の編制</p>	<p>一 陸軍省の編制 一 陸軍省の編制</p>	<p>一 陸軍省の編制 一 陸軍省の編制</p>	<p>一 陸軍省の編制 一 陸軍省の編制</p>	<p>一 陸軍省の編制 一 陸軍省の編制</p>	<p>一 陸軍省の編制 一 陸軍省の編制</p>	<p>一 陸軍省の編制 一 陸軍省の編制</p>	<p>一 陸軍省の編制 一 陸軍省の編制</p>	<p>一 陸軍省の編制 一 陸軍省の編制</p>
-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------

2134



電信符号追加ノ件
別紙ノ通り電信符号追加五成度

大正十五年十二月十七日

大臣官房 申中

經理局建築課



陸軍

2135

戸 卅 卍 华 协 卑 卒 卓

用途変更 102	雑種財産	公用財産	申報書	現在額	所屬換	事務所建	住宅建	工場建	倉庫建
雑屋建 卅	延坪 ノ	建坪 夕	工作物 コ	工作物及器具 工 機械 コ	土地、図面 ト	建物、図面 夕	總括 ソ	口座名 コ	

電信符號追加

經理局建築課

建

庫